

鈴鹿市制施行80周年記念事業

報告書



「継承×挑戦」の80年
未来に向かって輝け鈴鹿！

鈴 鹿 市

令和5年7月

I	市制施行80周年記念事業について	1
1	基本理念	1
2	基本方針	1
3	市制施行80周年記念 「ベルディ」イラスト及び記念テーマ	1
	(1) 鈴鹿市マスコットキャラクター「ベルディ」イラスト	1
	(2) 記念テーマ	2
4	事業期間	2
5	記念事業の構成	2
	(1) 鈴鹿市の主導による事業	2
	(2) 市民などの主導による事業	2
II	事業の内容	3
1	鈴鹿市の主導による事業	3
	(1) キックオフイベント	3
	(2) 鈴鹿市制80周年記念式典	4
	(3) みんなで創ろう！レガシー事業	5
	(4) 冠付け事業	57
2	市民などの主導による事業	83
	(1) 応援事業	83
III	啓発・広報	89
1	啓発物品	89
	(1) のぼり旗・ミニのぼり旗	89
	(2) 懸垂幕・横断幕	89
	(3) 公用車用マグネットシート	90
	(4) バックボードパネル	90
	(5) 職員用名札・名刺	90
	(6) オンライン会議用背景	91
2	広報すずか・市ホームページ・SNS・パネル展	92
	(1) 広報すずか特集（令和4年3月5日号掲載）	92
	(2) 広報すずか裏表紙「鈴鹿のレガシー」	92
	(3) 鈴鹿市ホームページ	93
	(4) SNS（Twitter・facebook・LINE）	94
	(5) パネル展示	94
IV	事業の総括	95

I 市制施行80周年記念事業について

市制施行80周年を契機とする周年事業を、次の趣旨で企画し、実施しました。

● 1 基本理念

周年事業の方向性を定めるものとして、基本理念を次のとおり決めました。

鈴鹿市は、令和4年12月1日に市制施行80周年を迎えます。これまでの歴史の中で先人が培ってきたモノを継承し、新たな技術や様式を取り入れ、様々な工夫と挑戦によりこの1年間を元気に盛り上げ、みんなに愛され選ばれるまちの実現に向けた記念事業を実施します。

● 2 基本方針

基本理念を実現するため、次の「3つの視点」を大切にして記念事業を展開しました。

- ① 新たなことへの挑戦。
- ② 地域の活性化につながること。
- ③ みんなが楽しめること。

● 3 市制施行80周年記念 「ベルディ」イラスト及び記念テーマ

市制施行80周年を記念し、本市のマスコットキャラクター「ベルディ」の限定イラスト及び記念テーマを作成しました。

このイラスト及び記念テーマは、市の啓発物品に活用するだけでなく、市民や事業者の皆さんなどが、鈴鹿市制施行80周年記念応援事業として、実施する事業の広告物（ポスター、チラシ、パンフレットなど）に活用していただきました。

(1) 鈴鹿市マスコットキャラクター「ベルディ」イラスト



【コンセプト】

80周年であることを強調するため、数字を大きく使い、「8」はベルディ本体の3色を配し、「0」から飛び出すベルディは、本市の未来に向かって進んでいく様子を表現しています。

また、「CITY」の「Y」は、本市の木である「けやき」をイメージしています。

(2) 記念テーマ

「継承×挑戦」の80年 未来に向かって輝け鈴鹿！

【コンセプト】

基本理念の中に記載のある「継承」と「挑戦」という、伝統と未来を表すキーワードを取り入れ、未来に向かって、元気のある「鈴鹿」市民をイメージしています。

●4 事業期間

令和4年4月1日（金）～令和5年3月31日（金）

●5 記念事業の構成

(1) 鈴鹿市の主導による事業

ア キックオフイベント

記念事業の幕開けとして、令和4年4月16日（土）に記念フォトオブジェを鈴鹿フラワーパークに1か月程度設置する事業（※当事業は、三重県が実施する「県民の日記念事業」と協同実施。）

イ 鈴鹿市制80周年記念式典

市制施行記念日である令和4年12月1日（木）に、本市の発展にご貢献いただいた方々の功績を顕彰するために挙げる式典。

ウ みんなで創ろう！レガシー事業（市主導分）

市立小・中学校の児童及び生徒が、学校単位で自由な発想により企画した取組を行う事業

エ 冠付け事業

本市が行う事業に「鈴鹿市制施行80周年記念事業」などの冠称や記念テーマを付けて実施する事業

(2) 市民などの主導による事業

ア 応援事業

市民の皆さんなどが基本理念の趣旨に賛同し、届出に基づき「鈴鹿市制施行80周年記念事業」などの冠称を付けて実施する事業

II 事業の内容

● 1 鈴鹿市の主導による事業

(1) キックオフイベント

令和4年4月16日（土）に、鈴鹿市フラワーパークで開催しました。

イベントでは、市内産の花や植木を使用した記念フォトオブジェ（壁面緑化）を設置し、鈴鹿市制施行80周年のキックオフを宣言しました。

※記念フォトオブジェの展示は、令和4年5月15日（日）まで実施しました。

当日は、シティセールス特命大使の中村好江さんによるトランペット演奏や、マスコットキャラクターの登場で会場を盛り上げました。

また、記念フォトオブジェの完成セレモニーでは、野町保育園の園児の皆さんにもお手伝いいただき、シティセールス特命大使の衛藤昂さんをはじめとした方々が、オブジェにペチュニアの花をはめ込み、完成を祝いました。

当日の様子は、オンラインで配信し、会場にお越しただけでない方や当日ご覧いただけない方にもお楽しみいただきました（オンライン配信や司会進行は、三重県立神戸高等学校放送部の皆さんにご協力いただきました）。

※当イベントは、三重県が実施した令和4年度県民の日記念事業「県民フラワープロジェクト」との協同開催です。また、本市としては、民間提案制度を活用して実施しました。



(2) 鈴鹿市制80周年記念式典

市制記念日である令和4年12月1日(木)に、イスのサンケイホール鈴鹿で挙行了ました。

プロジェクションマッピングの投影により、幕を開けた式典では、本市を代表して末松則子市長が式辞を述べました。

また、本市の友好都市であるベルフォンテン市(アメリカ)のベン・スターラー市長やル・マン市(フランス)のソフィー・モワジー副市長などの来賓が列席する中、多年にわたり施政の発展に貢献いただいた功労者の皆さんを表彰し、シャンパンボトル型クラッカーなどで80周年をお祝いしました。



(3) みんなで創ろう！レガシー事業（市主導分）

小学校30校，中学校10校で，次のとおり実施されました。

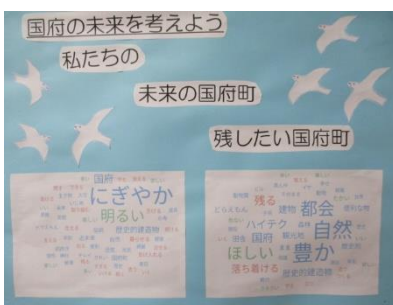
なお，事業の内容は，各学校から提出された完了報告書のとおりです。（機構順）

学校名	レガシー事業名	頁
国府小学校	国府の町の未来に向けて	7
庄野小学校	見つけよう庄野小のよいところ！ SDGs 長持ちスリッパに載せていつまでも	8
加佐登小学校	よみがえれ「希望の庭」	9
明生小学校	SDGs について理解を深めよう －地域の人といっしょに，むかし遊びや生活を体験しよう－（1年生）	10
	SDGs について理解を深めよう －みんなで作ろう！自然とふれ合おう－（2年生）	11
	SDGs について理解を深めよう －SDGs エコバックを作ろう－（3年生）	12
	SDGs について理解を深めよう －三重県地域資源カルタをつくろう－（4年生）	13
	新たな人との出会いを通して，自分自身を見つめよう（5年生）	14
	SDGs について理解を深めよう －6年間の感謝の気持ちをこめて，僕たち私たちの育ってきたまちへ－（高学年）	15
牧田小学校	「みんなで SDGs ～今日からみんなでできること～」 牧田小学校5年生による，牧田万博における SDGs に関する発表提案会	16
清和小学校	知ろう！清和のまち	17
石薬師小学校	「石薬師の100年後に残したい風景」を写真に撮ろう	18
旭が丘小学校	芝桜満開！笑顔満開！旭が丘小学校	19
鼓ヶ浦小学校	鼓ヶ浦海岸の環境について学ぼう	20
白子小学校	白子の海を守ろう！ ～流木・廃材を利用して，木工工作を楽しもう～	21
愛宕小学校	中庭を憩いと学びの場にしよう	22
稲生小学校	稲生地区の「むかし・いま・みらい」から学び，考えよう！	23
飯野小学校	SDGs に全学年で取り組もう	25
河曲小学校	河曲っ子 読書大好き！ レガシー文庫！！	26
一ノ宮小学校	人権・環境について考え，間伐材うちわに自分が学んだことや取り組むことを表そう！	27
長太小学校	未来へ伝えよう！長太の伝統文化や自然遺産の素晴らしさ	28
箕田小学校	箕田小オリジナル SDGs ハンカチを使って，いつも清潔な手で，健康・元気な箕田っ子！	29

学校名	レガシー事業名	頁
玉垣小学校	自分たちができることを探そう～学校・地域の環境を守るために～	30
桜島小学校	もっと知ろう, もっと好きになろう, 世界の国々のこと!そして, 共に生きていこう!	32
若松小学校	若松の海の豊かさを守ろう! 海岸清掃でSDGsをアピールしよう!	33
神戸小学校	神戸の町から世界へ支援の輪を	34
栄小学校	外国とのつながりを深めよう, 諸外国の文化に触れる	35
天名小学校	農業の技術革新「過去・現在・未来」を学ぶ	36
合川小学校	みんなでつくろう! SDGs ハンカチ	37
	やってみよう! SDGs	38
井田川小学校	みんなで作ろう! 使おう! 井田川小学校 SDGs エコバック	39
椿小学校	伝えよう! 私たちが育った椿の町 ~見て, 聞いて, 感じて~	40
鈴西小学校	『陸の豊かさを守ろう』~カブトムシ・クワガタムシのいる森づくり~	41
深伊沢小学校	学校池再生プロジェクト	42
庄内小学校	みんなで作ろう! 航空写真の記念文字 (市制施行80周年・創立125年目に向けて)	43
	桜の木を植樹しよう! (市制施行80周年)	44
	学校・地域を花いっぱいにして楽しんでもらおう! (市制施行80周年)	45
郡山小学校	共に創ろう! 「みんなの えがおが うれしい学校」プロジェクト	46
平田野中学校	みんなでつくろう平等な社会! SDGs「ジェンダー平等を実現しよう!」 レインボータオルメッセージを伝えよう!	47
白鳥中学校	人権落語を聞いて, 身の回りの人権について考えよう	48
白子中学校	「SDGsの17の目標(持続可能な開発目標)」について考えよう	49
鼓ヶ浦中学校	鼓中2年生ができるSDGsを考えよう! Tシャツでアピールしよう!!	50
創徳中学校	みんなでつくろう! SDGs(いじめ防止) カラーホイールバッジ	51
神戸中学校	神戸中学校の文化と歴史の継承・発展! ~誰もが幸せに生活できる学校・地域の担い手に~	52
大木中学校	SDGs「つくる責任 使う責任」について取り組もう!	53
千代崎中学校	千代崎中学校レガシー事業(人権教育の充実)	54
天栄中学校	エネワンカー&エネワンバイクを製作してSDGsについて考えよう	55
鈴峰中学校	多様な性について考えよう	56


■小学校



学 校 名	国府小学校
事 業 名	国府の町の未来に向けて
実施期間	令和4年9月1日(木) ~ 令和4年12月9日(金)
実施場所	国府小学校 1~6年生各教室
参加人数	331名
内 容	<p>【内容】</p> <p>総合や社会で見てきたことや調べてきたことをもとに、未来の国府の町について話し合い chromebook を使ってまとめたり、画用紙に絵で表現しました。</p> <p>1, 2, 3年 『未来の国府の町』というテーマで絵を書きました。</p> <p>4, 5, 6年 未来の国府の町について考えたことやクラスで話し合ったことを chromebook のテキストマイニングなどを使ってまとめ、印刷して掲示 未来の国府について作文を書いたりキャッチフレーズを考えたりしました。</p> <p>6年 地域の方と未来の国府の町について話し合いました。</p> <p>【結果】</p> <p>このことがきっかけになり、国府地区のいいところを再確認し、地域の方の思いを知ることができました。地域の方からも未来に託す子どもたちの思いを知ることができ地域のあり方について考えることができた感想をいただきました。</p>








学 校 名	庄野小学校
事 業 名	見つけよう庄野小のよいところ！ SDGs 長持ちスリッパに載せていつまでも
実施期間	令和4年10月21日（金） ～ 令和5年3月22日（水）
実施場所	鈴鹿市立庄野小学校
参加人数	248名
内 容	<p>SDGsの視点から、長く使える丈夫なスリッパを来客や地域の人・保護者に利用してもらうため、新たに購入しました。そして、新しいスリッパに庄野小のよいところを標語にしたものを掲載し、大切に使用してもらおうと考えました。</p> <p>【内 容】</p> <p>①各学年の発達に応じて、SDGsに関わる学習を行いました。</p> <p>②児童会が中心となり、庄野小学校のよいところを表した短い標語を募集しました。</p> <p>③募集した標語の中から、優秀作品を選び、新しく購入するスリッパに文字でプリントしてもらいました。選外の標語は一覧掲示して、庄野小のよいところをみんなで確かめ合いました。</p> <p>④新しいスリッパを保護者や地域の人、来客に使用してもらいました。</p> <p>⑤これからも環境・人権・国際など身近なところからSDGsについて学び、自分たちにできることから取り組んでいこうという思いを持たせられました。</p> <p>【結 果】</p> <p>標語を掲載した新しいスリッパは、学校運営協議会委員やボランティア、保護者、地域の方々に変な好評で、今後も長く大切に使用してもらえそうです。子どもたちは、SDGsについての学習のきっかけをつかむとともに、これからも自分たちにできることからSDGsに取り組み、人や物を大切にしようという思いを持つことができました。</p> <p>SDGsには、これからの社会を生きていく子どもたちにとって、めざすべき指標となる様々な項目があるので、さらに興味を持って学んでいくことを願っています。</p>



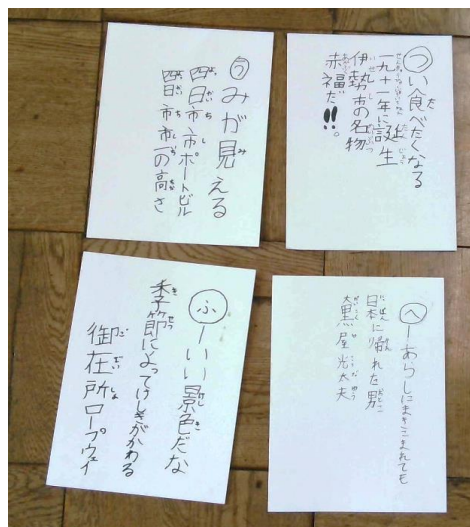
学 校 名	加佐登小学校
事 業 名	よみがえれ「希望の庭」
実施期間	令和5年2月14日(火) ～ 令和5年3月13日(月)
実施場所	鈴鹿市立加佐登小学校 庭の改修・・・正門横「希望の庭」 全校集会・・・各教室
参加人数	272名
内 容	<p>本校の正門横に、昭和47年1月に本校PTAにより造成された「希望の庭」があります。昭和45年の火災による校舎焼失からの復興の際に、当時のPTAが「新校舎にふさわしい情操教育の場を会員の力でつくろう」という思いで、手作りでこの庭園を築き上げました。それから約50年を経た現在は、草木が茂り過ぎ、稼働しない浄化装置が放置され、庭にある池にも近寄りにくい状態になっていました。</p> <p>そこで、学校敷地内の豊かな自然環境を整備するとともに、児童と保護者、地域の方が加佐登小学校の歴史を振り返る契機とするため庭の改修を行いました。</p> <p>改修後には、児童が加佐登小学校の歴史を振り返るための集会を行い、児童会役員から全校児童へ「希望の庭」にまつわる本校の歴史を紹介しました。また、学校だよりで保護者、地域の方に庭の歴史と事業内容を紹介しました。</p>
	

学 校 名	明生小学校（1年生）
事 業 名	SDGs について理解を深めよう －地域の人といっしょに、むかし遊びや生活を体験しよう－ （1年生）
実施期間	令和4年9月8日（木） ～ 令和4年11月10日（木）
実施場所	明生小学校
参加人数	46名
内 容	<p>昔の生活体験を通して、地域の方の参加、助言をいただきながら、子どもたちに自分たちが生活している「まち」を意識させていくことを目的とした事業であった。</p> <p>①地域の人といっしょに水遊びをしよう 水鉄砲を使った遊びを考え、いっしょに遊んだ。的の設定の仕方や積み方を工夫したり、遊びの中からルールが生まれたりして、家庭ではなかなかできない遊びのおもしろさを実感できる活動になりました。</p> <p>②地域の人といっしょに洗濯体験をしよう たらいや洗濯板、たわしを使った洗濯方法を教えてもらい、自分の靴下や上靴を洗った。靴下を手もみ洗いしたり、洗濯板を使って洗ったりすることで、昔のくらしの大変さを知ることができました。</p> <p>③地域の人といっしょにむかし遊びを体験しよう けん玉・こま回し・お手玉などの昔から伝わる遊びを教えてもらい、いっしょに遊びました。地域の人のお手本を見て興味がわき、上手になろうと練習する姿が見られました。また、地域の方と競ったり、コツを教えてもらったりして、繋がることができました。</p>
	 

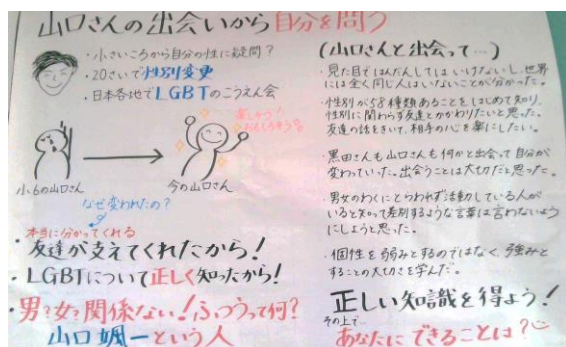
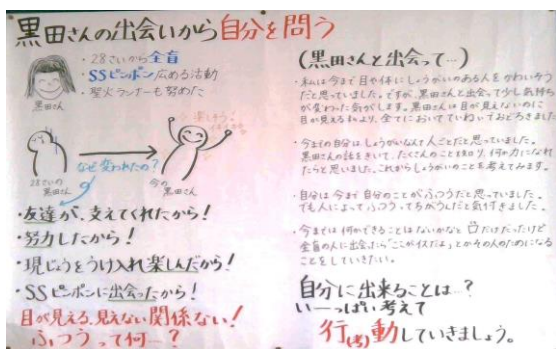
学 校 名	明生小学校（2年生）
事 業 名	SDGs について理解を深めよう －みんなで作ろう！自然とふれ合おう－ （2年生）
実施期間	令和4年9月8日（木） ～ 令和4年11月10日（木）
実施場所	明生小学校，青少年の森
参加人数	36名
内 容	<p>様々な取り組みの中から SDGs の「陸の豊かさを守ろう」について，すべての生き物と自然を大切にしようとする意識を高めることを目的とした事業です。</p> <p>①ネイチャーゲーム（自然体験活動） 夢工房講師，橋本満子さんを招いて，ビンゴカードを用いながら話を聞くことで，自然について興味，関心をもつことができました。</p> <p>②サツマイモのつるを利用したリース作り ボランティアの草取り隊さんと一緒にサツマイモを収穫し，そのつるからリースを作ったことで，「持続可能な社会づくり」のために捨てずに利用できるものを活用することの大切さや人とのつながりを実感できました。</p> <p>③「秋見つけ」活動でドングリや紅葉した葉などの採集体験 ボランティアさんで行った秋を感じる活動を通して，自然を大切にしようという意識が高まりました。</p> <p>④落ち葉を用いたエコバッグ作り エコバッグ作りに取り組みました。採集した葉でデザインしたバッグを作成することで，自然を大切にしようという意識や愛着が高まりました。</p> <p>⑤松ぼっくりを使ったツリー作り 採集した松ぼっくりでツリー作りをすることで，自然を大切にしようという意識や愛着が高まりました。</p>
	  


学 校 名	明生小学校（3年生）
事 業 名	SDGs について理解を深めよう －SDGs エコバッグを作ろう－ （3年生）
実施期間	令和4年9月8日（木） ～ 令和4年11月10日（木）
実施場所	明生小学校
参加人数	44名
内 容	<p>様々な取り組みの中から SDGs の取り組みの概要を知り、自分たちが取り組もうと考える SDGs について理解を深めることを目的とした事業です。</p> <p>①環境講座で、SDGs の取り組みについて知る。 （三重県地球温暖化防止活動推進センター） クイズを交えながらの話を聞くことで、SDGs の概要について理解を深めることができました。これから自分が取り組んでいきたいことをカードに記入し、SDGs の木に花を咲かせる活動に取り組みました。</p> <p>②もったいない講座で、カレーライスから「持続可能な社会づくり」のために自分たちができることを考える。（三重県環境学習情報センター） カレーライスを作る材料について考える中で、たくさんの「人」や「もの」「時間」がかけられていることに気づき、食べ物を残すことは、とてももったいないことだと実感することができました。</p> <p>③学習したことをもとに、自分たちが取り組んでいきたい SDGs のロゴをデザインしたエコバッグを作る。 学習のまとめとして、エコバッグ作りに取り組みました。自分の手でデザインしたバッグを使用することで、SDGs への意識が高まりました。</p>
	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>



学 校 名	明生小学校（4年生）
事 業 名	SDGs について理解を深めよう －三重県地域資源カルタを作ろう－ （4年生）
実施期間	令和4年9月8日（木） ～ 令和4年11月10日（木）
実施場所	明生小学校
参加人数	44名
内 容	<p>三重県の有名な特産物や人物、観光地などを、カルタ作りを通して詳しく知ることを目標とした事業です。</p> <p>まず、三重県にはどんな有名なものがあるのかなど、調べ学習を行いました。その調べ学習をもとに、絵札と読み札にするものを決め、作成をしました。</p> <p>子どもたちは、カルタ作りを通して、三重県に住んでいても知らないことがあり、新たな気づきに繋がりました。また、三重県を誇りに思うきっかけになればと思いました。</p>








学 校 名	明生小学校（5年生）
事 業 名	新たな人との出会いを通して、自分自身を見つめよう（5年生）
実施期間	令和4年7月1日（金） ～ 令和4年11月10日（木）
実施場所	明生小学校
参加人数	50名
内 容	<p>様々な人と出会い、自分とは違う価値観や考え方を学び、今までの自分にとっての、「ふつう」や「当たり前」が、そうではないことに気づくことを目標とした事業です。</p> <p>一人目は視聴覚障がい者の黒田さん、二人目は LGBT 啓発を務める山口さんと子どもたちは出会いました。二人とも人との出会いを通して自分のつらい過去を乗り越えることができたと言っていました。講師の方々の明るくふるまう姿を通して、子どもたちは自分たちが障がい＝「つらいこと」、「悲しいこと」というとらえをしていたことに気づくことができました。またそこから「ふつう」や「当たり前」とは何かを考え、自分にできることを問い続けることができました。</p>



学 校 名	明生小学校（高学年）
事 業 名	SDGs について理解を深めよう － 6年間の感謝の気持ちをこめて、僕たち私たちの育ってきたまちへ - （高学年）
実施期間	令和4年9月26日（月） ～ 令和4年11月10日（木）
実施場所	明生小学校
参加人数	81名
内 容	<p>運動会での表現運動として、過去の表現運動を再現するとともに、レガシー事業の予算で購入したフラッグを使って、5・6年生が協力し、一丸となって表現運動をすることを目的とした事業です。また地域の方への感謝の気持ちをことばと表現活動を通して伝えることを意識しました。</p> <p>5年児童と6年児童が、低学年時（1年生と2年生の時）に踊った「タッタ」と、中学年時（3年生と4年生の時）に踊った「ソーラン」、さらにフラッグを使った「残響散歌」の3種類の表現運動を行いました。</p> <p>フラッグを使った表現運動は、子どもたちにとって初めての体験であり、各自がフラッグの扱い方や、周りの児童と動きを揃えることに苦労して練習していました。</p> <p>運動会当日は、練習の成果を発揮し、一体感のある演技を披露することができました。自分たちの成長や感謝の気持ちを地域の方にも伝えることができました。子どもたちも地域への感謝の気持ちが醸成されました。</p>
	



学 校 名	牧田小学校
事 業 名	「みんなで SDGs ～今日からみんなでできること～」 牧田小学校5年生による、牧田万博における SDGs に関する発表提案会
実施期間	令和4年10月3日(月) ～ 令和5年3月24日(金)
実施場所	鈴鹿市立牧田小学校 三重県鈴鹿市岡田1丁目29-1
参加人数	全児童403名(発表・提案5年生79名, 推進協力1年生～6年生324名)
内 容	<p>【内 容】</p> <p>牧田小学校5年生が、世界にある様々な問題や SDGs について学び・考えたことを、学校全体や地域で実践していく為、12月1日に校内で開催する牧田万博において、学校全体の児童に向けて発表し、学校でも取り組めることを提案しました。</p> <p>さらに、学校で具体的に SDGs に関して取り組む為、5年生の児童が17の項目について、児童自身の視点や言葉で具体的に取り組む内容を考え、一覧にした下敷きを作成し、全校児童に配布することで、全校で SDGs の推進に取り組みました。</p> <p>【結 果】</p> <p>5年生児童が SDGs について学び、世界の様々な解決しなければならない課題や問題を理解し、その内容を項目ごとに分け、他学年の児童が理解できるよう視覚的・内容的に工夫してまとめることができました。</p> <p>作業を通じて、5年生児童は、主体的に SDGs に関する知識を深め、牧田万博において、1年生から6年生までの他学年の児童に対して、世界の課題や問題についてクイズ形式で問いかけ、SDGs の重要性についてしっかりと伝えることができました。</p> <p>更にその後、校内で SDGs を具体的に進めるため、小学生が取り組むことができる具体的な内容を17項目について考え、それを一覧にした下敷きを作成・配布した。配布の際には、5年生以外の他学年も SDGs に関して再度学習を行うことで、校内全体で SDGs を具体的に推進する取組へとつなげることができました。</p>
	 




学 校 名	清和小学校
事 業 名	知ろう！清和のまち
実施期間	令和4年5月9日（月） ～ 令和5年2月27日（月）
実施場所	鈴鹿市立清和小学校
参加人数	5年生児童51名
内 容	<p>【事業内容】</p> <p>○地域学習 地域の方をゲストティーチャーとして迎え、5年生の児童に地域のことについて語っていただき、5年生は聞き取ったことを交流してまとめ、4年生と地域の方に発表しました。 〈地域活性化の活動〉オンナイ念仏・清和同好会（学校支援ボランティア団体） 八幡神社の祭り 〈地域を守る活動〉三日市の自主防災 〈地域の歴史〉飯野神社の歴史・清和小学校創立時のこと・算所の成り立ち 算所の戦争時の様子・三日市の市</p> <p>○地域の活動に参加・協力 地域の方とともに花壇（清和ガーデン）で花づくりと樹木の世話 保護者とともに通学路の清掃活動</p> <p>【結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の歴史等については、保護者等の大人でもわかっていないことも多いので、このような地域学習を通して子どもたちが学ぶことはとても良い機会となりました。 ・地域学習のテーマを決めるために、学校運営協議委員で子どもに何を学ばせたいかを考えることができました。
	  


学 校 名	石薬師小学校
事 業 名	「石薬師の100年後に残したい風景」を写真に撮ろう
実施期間	令和4年9月12日(火) ~ 令和5年3月24日(金)
実施場所	石薬師小学校 石薬師小学校区
参加人数	41名
内 容	<p>・自分が住む「石薬師」の良さを考え、「100年後に残したい石薬師の風景」をテーマに自分が選んだ場所や風景の写真を撮り、考えたこと、感じたことを表現しました。</p> <p>・カメラの構え方や縦位置、横位置など、写真撮影の基礎を写真家の松原豊先生に教わり、写真撮影の知識や技能で満足できる写真撮影を行いました。</p> <p>・写真に自分の思いの文章を添えて展示し、石薬師小学校児童や地域の人に作品に親しんでもらう。また、県外の小学校との交流を行いました。</p> <p><結果></p> <p>・石薬師地区の百年後も残したいと思う風景を6年生が考えるだけでなく、全学年にアンケートをとり、6年生だけでは気づかなかった場所や子どもたちが親しみを感じている風景に気づくことができました。</p> <p>・写真家の松原豊さんから、写真の魅力、カメラ撮影の知識や技術、写真に込める思いなどを教えていただき、思いを込めて様々な角度から写真を撮りました。一人ひとりが撮影し写真の中から100年後まで学校に飾って残したい1枚を選びました。</p> <p>子どもたちは写真に撮ったその風景の良さや思い出の文章を添えて校内に展示した。また、県外の小学校6年生との交流も行いました。</p> <p>子どもたちは「100年後に残したいふるさとの風景」を写真という形で残す活動を通して、地域にある大切なものに気づくことができた。また、幅広く考えたり、じっくり調べたりすることでふるさとに対する思いも深まりました。</p>
	 




学 校 名	旭が丘小学校
事 業 名	芝桜満開！笑顔満開！旭が丘小学校
実施期間	令和4年9月1日（木） ～ 令和4年12月10日（土）
実施場所	鈴鹿市立旭が丘小学校
参加人数	6年生児童150名，旭が丘地区まちづくり協議会から約10名
内 容	<p>（内容）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・芝桜植栽のための花壇整備（除草，整地，防草シート，散水ホース等の設置） ・卒業記念陶板焼きプレートの作成と設置 ・まちづくり協議会主催の行事，「クリーン旭が丘（12/10）」に合わせて地域住民への披露 <p>（結果）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度から始まった学校敷地内への芝桜花壇が拡充した。本事業で整備した花壇は，市道に面しているため，春の開花期には住民にも花見をしてもらえるようになりました。 ・鈴鹿市 Facebook 及び Twitter へ掲載してもらい，本事業の取組内容を広く周知することができました。 ・卒業記念と兼ねて実施したことで，SDGs「住み続けられるまちづくり」の視点で，地域への愛着を育む取組となりました。



学 校 名	鼓ヶ浦小学校
事 業 名	鼓ヶ浦海岸の環境について学ぼう
実施期間	令和4年9月5日（月） ～ 令和5年3月31日（金）
実施場所	鈴鹿市立鼓ヶ浦小学校
参加人数	児童131名 教職員12名 地域住民約80名
内 容	<p>9月5日（月）ウミガメネットワーク三重による環境問題学習（4年生） ウミガメネットワーク三重と鼓ヶ浦公民館おじさんセミナーの方を講師に招き、ウミガメの標本やDVDを通して、自然環境やSDGsについて学習会を行いました。</p> <p>10月29日（土）海岸清掃（主催／本校PTA 共催／鼓ヶ浦地区まちづくり協議会等） 開始式で世界的なSDGsの重要性や地域の環境保護（再びウミガメが産卵できる海岸になること等）について、まちづくり協議会から参加者の保護者や児童、地域住民に周知啓発を行いました。</p> <p>11月15日（火）エコ作品教室（2年生） 三重県地球温暖化防止活動推進センターから3人の推進員を招き、ゴミ問題とリサイクルの大切さについての学習と牛乳パックを活用したエコ作品づくりを行いました。</p> <p>11月25日（金）鼓ヶ浦海岸の自然観察（3年生） おじさんセミナーの方と日本野鳥の会三重の方を講師に招き、鼓ヶ浦海岸の自然や生き物を観察しました</p> <p>12月12日（月）～1月12日（木） おじさんセミナーの方と協働して全校児童でタイルアートの制作に取り組みました。</p>
	 

学 校 名	白子小学校
事 業 名	白子の海を守ろう！ ～流木・廃材を利用して、木工工作を楽しもう～
実施期間	令和4年5月16日（月） ～ 令和4年11月30日（水）
実施場所	白子小学校教室 白子海岸 白子公民館
参加人数	4年生 65名
内 容	<p>社会科「健康な暮らしを守る仕事（ごみの処理と活用）」の学習をきっかけに、SDGsの17ある目標の1つ「14 海の豊かさを守ろう」について総合的な学習の時間などで次のような取組を行いました。</p> <p>○5月16日頃から、社会科「ごみの処理と活用」の学習に入った。その中で、人間は日々様々な資源を消費し、大量のごみを出していること、その影響で自然環境の破壊が進んでいることに気づかせ、環境問題への関心を高めました。</p> <p>○新聞記事（5月5日中日新聞）を子ども達に提示し、流木がウミガメの産卵を拒んでいるということを伝え、6月11日（土）のPTA海岸清掃への参加を呼び掛けました。また、収集した流木と校内の樹木伐採から出た廃材で「流木アート」づくりをすることも伝えました。子ども達は環境保全に対する目的意識をもって参加することができました。そして、地域にある白子海岸の現状を体感し、「白子の海を守ろう」という意欲向上につながりました。</p> <p>○海岸清掃で収集した流木と廃材を使って、「流木アート」づくりを行った。流木独特の形をうまく生かし、そこに廃材から切り取った小さな丸太や小枝をグルーガンでつけた後、ポスカで部分的に色付けし、完成した。子ども達は、大変嬉しそうに夢中になって制作していました。</p> <p>○「流木アート」の代表作品を7月28日～8月16日の期間、白子公民館に展示してもらい、環境問題を地域に発信する機会を設けた。公民館の方からは、「多くの方に見ていただき、好評でしたよ。」という言葉をいただきました。</p> <p>○学習のまとめとして、登校日（8月19日）に、三重県地球温暖化防止活動推進センターより2名の推進員の方にご来校いただき、「海洋ごみ」についての出前授業を行いました。海洋ごみはどこからくるのかを改めて学び、減らすためにはどんなことができるのか、自分の生活を振り返った。学んだことは、2学期以降、校内掲示板上に掲示し、全校児童に発信したり、授業参観の際、保護者の方にも見ていただいたりしました。日々、海を身近に感じている子どもたちにとって、海洋汚染問題は関心の高い学習となりました。</p>
	  

学 校 名	愛宕小学校
事 業 名	中庭を憩いと学びの場にしよう
実施期間	令和4年6月1日（水） ～ 令和4年11月2日（水）
実施場所	鈴鹿市立愛宕小学校
参加人数	403名
内 容	<p>本校は、南館と本館の間に中庭スペースがあります。火災の際には、南館の消火活動のために消防車等が進入できるようにしておかなければならない場所ですが、たくさんの木が茂り、見通しが悪いため立ち入り禁止となっていました。そこで、昨年度、樹木の整理・伐採を行い、消防車が進入できるように整備しました。本年度は、実のなる木を増やし、池にメダカを入れて、子どもたちの憩いの場として開放するとともに、動植物の観察や栽培活動の場として整備を進めることとしました。</p> <p>【内 容】</p> <p>①中庭東側の畑の土を栽培に適したものに入れ替えて、「まつかぜファーム」を造り、特別支援学級児童が中心となって栽培活動を行いました。</p> <p>②校内に堆肥をつくる場所を整備し、児童が収穫後の野菜殻や抜いた雑草を集積して堆肥を作って畑に戻し、再び栽培活動を行う、という持続可能なサイクルを確立しました。</p> <p>③中庭の中央部に太陽光発電による時計を設置し、中庭での子どもたちの活動を推進するとともに、再生可能エネルギーへの関心を高めました。</p> <p>【結 果】</p> <p>①畑の土が耕作に適したものとなり、「まつかぜファーム」で、特別支援学級児童が植えた大根が順調に育っています。</p> <p>②夏の奉仕作業で刈った草が、集積所で堆肥となり、まつかぜファームの畑で利用されています。</p> <p>③太陽光発電の時計が設置されたことにより、時刻が確かめられるようになったため、休み時間等に中庭に来て、メダカを観察したり、虫取りをしたりして過ごす児童が増えました。</p>
	

学 校 名	稲生小学校
事 業 名	稲生地区の「むかし・いま・みらい」から学び、考えよう！
実施期間	令和4年4月12日（火） ～ 令和5年3月23日（木）
実施場所	学校，稲生地区各地域
参加人数	706名
内 容	<p>①地域の人々からの学び</p> <p>将来の「まちづくり」の担い手としての児童が，先人の知恵と工夫，そして現在よりよいまちづくりを目指している人々の思い等を，地域の方々から直接学ぶ体験活動などを行いました。主な取組は以下の通りです。</p> <p>1年生：サツマイモの苗植え・収穫，昔の遊び</p> <p>2年生：まちたんけん</p> <p>3年生：安全・安心な暮らしを守る</p> <p>4年生：暮らしの中に伝わる願い（伊奈富神社紫つつじ）</p> <p>5年生：米作り，飯盒炊爨</p> <p>6年生：紫つつじ植樹，わたしたちの住む町稲生絵画・作文コンクール</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>4年生伊奈富神社訪問</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>5年生稲刈り</p> </div> </div> <p>②紫つつじの植樹</p> <p>植樹に向けて「紫つつじ特別委員会」と連携し，運動場南面の整備（樹木剪定，土壤改良）を行いました。特に樹木の剪定は，地域，保護者，教職員が協力して行い，日当たりと視認性の確保につながりました。</p> <p>3月7日，地域の関係者出席のもと，4年生による種まきと6年生の卒業記念植樹を実施しました。今回は，合計6株の植樹でしたが，計画的に栽培し，将来はたくさんの紫つつじが咲き誇る校庭にする予定です。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>紫つつじ卒業記念植樹</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>卒業記念植樹</p> </div> </div>

③ドローンによる教材の開発



現在の学校や地域の様子をドローンによる映像や画像に残すことができました。今年度は、学校付近の撮影だけでしたが、今後は、伊奈富神社などの文化遺産や町なみ、農地やため池など、幅を広げ、効果的な教材資料の作成に取り組んでいきます。また、「6年生を送る会」で流すメッセージビデオの撮影でも利用することができました。様々な場面での利活用に挑戦していきたいです。



ドローンによる画像（学校より北方面）



ドローンによる画像（学校より南方面）


学 校 名	飯野小学校
事 業 名	SDGs に全学年で取り組もう
実施期間	令和4年10月3日（月） ～ 令和5年3月24日（金）
実施場所	鈴鹿市立飯野小学校 野外民族博物館リトルワールド・三重執鬼・スーパーサンシ鈴鹿ハンター店
参加人数	674名
内 容	<p>児童集会で、児童会役員を中心に代表委員とともに環境問題や人権問題についての課題を提供し、各学年でSDGsの17の目標から1つ以上選び、取り組みました</p> <p>1年生・・・木の実を使った作品作りを通して、森林問題について考えるきっかけづくりをするとともに、給食の残量を減らすためにできることをみんなで考えました。</p> <p>2年生・・・校区にある運送会社「三重執鬼」を見学し、バイオディーゼルやEVトラックの見学等を通して環境について学習しました。</p> <p>3年生・・・スーパーの見学を通して、「てまえどり」や買い物の工夫など、自分たちにできることを実践していこうと考えました。</p> <p>4年生・・・算数科の学習をもとに、フードロスや給食の残量を減らすためにできることを考えました。</p> <p>5年生・・・リトルワールドへの社会見学を通して世界の国々の違う文化に触れ、人々が平等に生活する大切さについて考えました。</p> <p>6年生・・・国語科の学習を発展させて、総合的な学習でSDGsについて学習し、自分たちにできることを考えました。</p> <p>それぞれの学年で取り組んだことをギャラリーに掲示することで、それぞれの取り組みを交流するとともに、保護者の方々にも見ていただくことができました。この事業で、SDGsについて考える機会が持てたことは、子どもたちにとってよい経験でした。</p>
	 


学 校 名	河曲小学校
事 業 名	河曲っ子 読書大好き！ レガシー文庫！！
実施期間	令和5年1月23日（月） ～ 令和5年3月31日（金）
実施場所	河曲小学校 校舎内廊下
参加人数	全校児童 481名
内 容	<p>読みたい本がすぐ手に取れる移動式図書館みたいなものがあれば、子どもたちの読書意欲も高まるだろうと考え、市制施行80周年を記念した移動式の図書文庫、名付けて「レガシー文庫」を配置しました。</p> <p>【事業内容】</p> <p>①全校児童に読みたい本の希望を聞きました。（図書委員会）</p> <p>②図書委員会の児童で新本の選定を行いました。（学年20冊，合計120冊程度）</p> <p>③移動式の本棚を準備し，配置の準備をしました。（学年1台，計6台，PTAの協力）</p> <p>④市制記念日に本事業を全校に紹介を行いました。（児童会，図書委員会）</p> <p>⑤各学年の廊下にレガシー文庫を配置し，読書活動を開始しました。</p> <p>⑥図書だより等でレガシー文庫の本の紹介や活用方法を全校に周知しました。</p> <p>【結 果】</p> <p>図書館に行かなくても，読みたい本が近くにある環境は，ますます子どもたちの読書活動を活性化させ，充実させることができました。「本が好き！」「読書大好き！」河曲小学校の子どもたちが夢中になって読書に取り組む姿が多くみられるようになりました。</p>



学 校 名	一ノ宮小学校
事 業 名	人権・環境について考え、 間伐材うちわに自分が学んだことや取り組むことを表そう！
実施期間	令和4年6月1日（水）～ 令和5年1月10日（火）
実施場所	鈴鹿市立一ノ宮小学校 各学級教室・図工室
参加人数	443名（全校児童）
内 容	<p>人権問題や環境問題について、自分が学んだことや取り組んでいきたいことを、間伐材うちわに表現・作製し、家で使うことで、児童やその家族へのSDGsの周知や、理解醸成につなげます。また、間伐材うちわを使うことでCO₂削減につなげます。</p> <p>【内容】</p> <p>①SDGsについて、目的や内容を理解しました。（全校）</p> <p>②人権学習【障がい者・外国人の人権にかかわる問題（5・6年生）】 環境学習【SDGsと自分ができること（1～6年生）】</p> <p>③SDGsの説明や人権学習や環境学習での学びや自分が取り組んでいきたいことを、間伐材うちわに、絵や文字で表現し、鑑賞・交流しました。【全校】</p> <p>④間伐材うちわを使うことで、CO₂削減につなげました。</p> <p>【結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・間伐材のうちわづくりを通して、人権学習や環境学習で学んだことや取り組んでいきたいことを明確化・焦点化することができました。 ・SDGsについての理解を深める中で、自分も地球に住む一人として何らかの行動をしていこうという意識が高まりました。 ・うちわの製作過程や制作したうちわを使うことで、二酸化炭素削減意識や行動が期待できます。



学 校 名	長太小学校
事 業 名	未来へ伝えよう！長太の伝統文化や自然遺産の素晴らしさ
実施期間	令和4年6月1日（水） ～ 令和5年3月20日（月）
実施場所	長太小学校（音楽室，体育館），長太の大楠（鈴鹿市南長太町）
参加人数	105名
内 容	<p>「長太の大楠」や「鯨船祭り」など，後世に伝えていかなければならない伝統文化や自然遺産を，クロムブックと充電器を活用し，デジタル画像や動画にして残しました。</p> <p>加えて，保護者をはじめ，地域社会に発信するため，3年生では「鯨船」の写生を行い長太公民館の文化祭で展示をしました。また，「鯨船祭り」の踊りや歌，打楽器の演奏を体育館で発表しました。4年生は，「長太の大楠」を写生し，同じく長太公民館の文化祭で展示をしました。また，樹木医を招聘し，長太の大楠の現状について学び，今後地域でどのように見守っていくかについて講和していただきました。</p> <p>【詳細】</p> <p>① 1人1台活用できるクロムブック等を使い，地域の伝統文化や自然遺産を取材して画像や動画にして記録しました。</p> <p>② 学校や家庭で1人1台のクロムブックと2人で1台の充電器を用いて，各行事にまとめ，データベース化しました。</p> <p>③ 画像や動画をQRコード化して，学校だより等で地域に発信して，いつでも閲覧できるようにしました。</p> <p>【SDGs 目標】</p> <p>11 住み続けられるまちづくりを 15 陸の豊かさを守ろう</p>
	

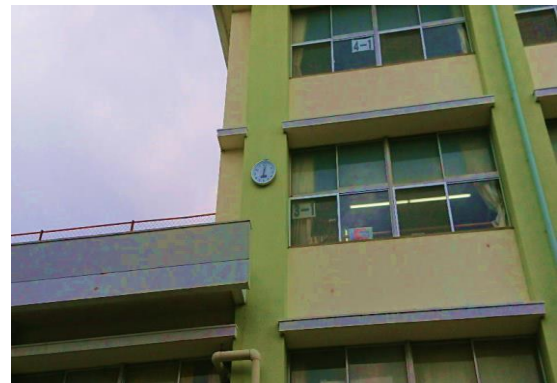
学 校 名	箕田小学校
事 業 名	箕田小オリジナル SDGs ハンカチを使って、 いつも清潔な手で、健康・元気な箕田っ子！
実施期間	令和4年9月1日（木） ～ 令和5年1月20日（金）
実施場所	箕田小学校の各教室及び体育館
参加人数	234名
内 容	<p>鈴鹿市制施行80周年記念の年に、箕田地区をはじめ鈴鹿市が今後も住みやすく持続化可能な街となるよう、SDGsの意識・啓発のためのオリジナルハンカチを作成しました。</p> <p>事業実施にあたっては、児童会役員を実行委員として、以下のことをメッセージできるデザイン作成に全校児童で取り組みました。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① みんなが平和に暮らせること。 ② 差別をなくし、誰もが笑顔で過ごせること ③ 世界の誰もが、食べ物に困らないようにすること ④ どこの国でも、きれいで安全な飲み水が手に入るようにすること ⑤ 海や山のゴミを無くし、きれいな環境にすること ⑥ 世界中の子どもたちが、学校で勉強できるようになること <p>全作品から27点を第一次選考の優秀作品として校内に掲示するとともに、実行委員会で最優秀作品1点を選び、そのデザインを基にハンカチの作成を業者に委託しました。</p> <p>全校児童で一つのテーマに取り組み、学校オリジナルのハンカチを作り上げたことで、市制施行80周年とSDGsへの意識向上につながりました。また、作成したハンカチを日常的に使用することで、SDGsの周知や理解に結びつくと考えました。また、地域に配布することで、学校と地域との連携強化にもつながりました。</p>
	




学 校 名	玉垣小学校
事 業 名	自分たちにできることを探そう～学校・地域の環境を守るために
実施期間	令和4年5月9日（月） ～ 令和5年2月10日（金）
実施場所	玉垣小学校 （見学先として）南部浄化センター，鈴浄会，石垣池公園
参加人数	128名
内 容	<p>本校は4年生の総合的な学習の一環として，環境問題をテーマにして，自分たちにできること考え，実行する取組を進めました。</p> <p>取組1「SDGsについて学ぼう」</p> <p>三重県地球温暖化防止活動推進員 落合文記さん，吉田賢一さんを講師に招き，SDGsの概要について学びました。一人ひとりが「物を大事に使う」「電気をこまめに消す」などの取り組みたいことをカードに書き，貼り合わせて階段の踊り場や職員室前に掲示することで，学びを交流することができ，また全校に発信することができました。</p> <p>取組2「健康な暮らしを守る仕事について学ぼう」</p> <p>社会科とも連携しながら，校区にある鈴浄会を見学したり，社会見学で南部浄化センターを訪問したりし，地域の清掃活動について，また働く人の話から自分たちの生活を支えてくれている人々の思いに気が付くことができました。</p> <p>さらに，三重県地球温暖化防止活動推進員及び鈴鹿市防災危機管理課の方を講師に招いて，自然災害や防災について学びました。学校の敷地内に設置されている防災倉庫についても知り，その役割や安心して住み続けられるまちづくりについて考えを交流することができました。</p> <p>取組3「身近なことで，自分たちにできることをみつけよう」</p> <p>身近に自分たちのできることとして，まず給食の残飯をなくすために自分に合った量に調整したり，牛乳パックを正しく分別して捨てたりすることなどを改めて意識して取り組むことができました。</p> <p>また，学校敷地内や，遠足で行く途中の西玉垣公園や道路，目的地の石垣池公園でゴミ拾いの活動を行いました。あっという間に大きなゴミ袋がいっぱいになるのを見て，一人ひとりの意識が環境美化に繋がることを実感することができました。</p> <p>さらに，環境に配慮した「学校にあったらいいな」と思うものを考え合いました。児童からは，米ストロー，余った糸で作る用品，ゴミ拾いのときに地域の人にもわかりやすいように着るビブス，環境を大切に作るイラストを入れたクリアファイルなどの意見が出ました。その中から，時計が中庭にあったら全校児童の役に立つというアイデアをもとに，中庭に面した北校舎の壁に，電波式ソーラー時計を設置しました。</p>


<ソーラー時計設置に関する児童の感想>



- ・中庭に時計があると時間が分かるから、休み時間にあと何分で教室に帰ればいいのか分かるから生活が楽になると思うし、ソーラーの時計なので、地球にやさしいから環境にもいいと思います。
- ・中庭に設置されて、みんなが見られていいなって思いました。これからもみんなの役に立つことをできたらいいなって思いました。
- ・電気の節約になるし、とても良いと思います。
- ・中庭のソーラーの時計で、少しでもSDGsに繋がると思うと、自分でも小さいことからして、いつか大きなことに繋がるといいと思います。
- ・4年生のみんなの意見が使われていいなって思いました。


学習活動を進めながら、少しずつ身近な行動に移していった子どもたちだが、自分たちの意見から、学校全体に役に立つソーラー時計を設置していただいたことに充実感を得ることができ、今後も自分たちにできることを実行していこうという意欲を持つことができました。



学 校 名	桜島小学校
事 業 名	もっと知ろう, もっと好きになろう, 世界の国々のこと!そして, 共に生きていこう!
実施期間	令和4年9月1日(金) ~ 令和5年2月24日(金)
実施場所	鈴鹿市立桜島小学校
参加人数	690名
内 容	<p>【内容】</p> <p>①外国につながるのある児童の出会い学習の授業を行う際に, その国のことを分かりやすく伝えるために, 地球儀で位置を確認したり, 本に載っている写真を見せたりしました。また, その国の衣装や遊びなど, 児童が五感でその国を感じられるよう工夫して授業を行いました。</p> <p>②本校児童がつながりのある国を示した世界地図の掲示に加えて, 各月ごとに1つの国をピックアップして掲示物等を準備して, 毎月1つの国にスポットを当てたコーナーを作りました。</p> <p>③国際委員会を中心に多文化共生コーナーの掲示物作りを行ったり, 全校児童がたくさんの国に興味をもてるようにクイズを出したりしました。また, 自分達が取組んでいることを各クラスに知らせました。</p> <p>【結果】</p> <p>①地球儀を使いながら友達の家を探することで, 世界各国から桜島小学校に集まっていることを理解することができました。子どもたちは「ええ!こんなに遠くから来たの!!」と驚く声を聞きました。</p> <p>②新しく購入した本を使って, ポスターを作成しました。インターネットで調べたことと本で調べたことを正しい情報か確認しながら作ることができました。このポスターは全校児童が見ることができる場所に掲示してあります。</p> <p>③国旗かるたは雨の日遊びに追加しました。楽しみながら国旗を覚えることができ, 購入したポスターを使って全校でポスターラリーを行いました。ただ読むだけでなく, ゲームをしながら外国のことについて知ることができました。</p>
	  

学 校 名	若松小学校
事 業 名	若松の海の豊かさを守ろう！ 海岸清掃でSDGsをアピールしよう！
実施期間	令和4年11月21日（月） ～ 令和5年3月22日（水）
実施場所	鈴鹿市立若松小学校 千代崎海岸をはじめとした校区地域
参加人数	30名
内 容	<p>・5・6年生児童を中心に、海岸清掃などの地域の清掃活動を今後につなげるための取組を考えさせ、SDGsの周知や理解につなげることができました。</p> <p>・全校児童や地域に向けてSDGsをアピールしていくため、児童がデザインしたベストを作成し、清掃活動を行う取組を行いました。</p> <p>・完成時は、今年度の海岸清掃やクリーンパトロールがすでに終了していたため、若松地域づくり協議会で募集される「ごみのポイ捨てゼロ」ポスターに取り組み、校内への掲示、周知活動に活用した。（写真参照） 今後は5年生児童が活動を引継ぎ、令和5年度の海岸清掃活動等にベストを着用して参加していきます。</p>
	 <p>校内啓発活動の様子</p>


学 校 名	神戸小学校
事 業 名	神戸の町から世界へ支援の輪を
実施期間	令和4年6月27日（月） ～ 令和5年1月10日（火）
実施場所	鈴鹿市立神戸小学校 学区区店舗（あいづや菓子店・スーパー名門・神戸公民館）
参加人数	5年生 117名
内 容	<p>自分たちの住む神戸の町の人たちと共に世界中に向けて支援をしていく取り組みを行いました。</p> <p>【内容・結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実行委員会を中心に支援を必要としている人々に募金活動をして支援金を送ることを決めた。「募金活動の仕方」について考え、自分たちや町の人たちが利用しているお店に、協力してもらい募金箱を置いてもらうこと、募金をしてくれた人々にお礼の品を返すことを決めました。二学期始めにはウクライナ出身の柏谷さんを招いて、「ウクライナの文化や歴史・現状」について講話をしていただき、日本では報道されていない現状を学習することができました。 ・募金をしてくれた方々へのお礼の品は「伊勢型紙を使ったうちわ」「神戸の町の写真をプリントしたトートバック」「神戸の町の写真を使った缶バッチ」に決め、募金箱や宣伝のポスターと同様に児童が中心となって作成しました。 ・募金箱は11月9日～22日まで「あいづや菓子店」「神戸公民館」「スーパー名門」に協力していただき、それぞれのお店に制作した物と募金箱を設置した。募金期間中は定期的に商品の補充と募金の回収を実行委員会が中心となって行いました。 ・募金の総額は76,285円。 ・募金は全額三重県Unicef協会の方を12月15日に招き贈呈式を行い、支援金を現地に送っていただくことになりました。 ・12月20日に協力していただいたお店にお礼の手紙と品を実行委員会が届けました。
	 

学 校 名	栄小学校
事 業 名	外国とのつながりを深めよう，諸外国の文化に触れる
実施期間	令和4年11月1日（火） ～ 令和5年3月31日（水）
実施場所	栄小学校図書室，各学年教室
参加人数	全校児童170名
内 容	<p>【内容】</p> <p>①外国の文化や生活につながる書籍（ex. 海外の絵本や物語，文化が紹介された図鑑，日本の物語の外国訳版等）を購入し，図書館内で特設コーナーを作りました。</p> <p>②学年・学級単位で読み聞かせを行い外国の文化への理解を深めました。</p> <p>③外国につながる玩具やボードゲーム等を購入し，新たな文化に触れることのできる機会を作りました。</p> <p>【結果】</p> <p>いろいろな国の言語や文化に日常的に触れる機会を作ることができました。新たな言語や文化に触れることで，同じ物事でも新たな視点を持って考えることができるようになりました。これまでは低学年向けの教材が少なかったが，幅広い学年が受け入れられる教材をそろえたことで，6年間通しての学習がより行いやすくなりました。</p>
	

学 校 名	天名小学校
事 業 名	農業の技術革新「過去・現在・未来」を学ぶ
実施期間	令和4年4月12日（火） ～ 令和4年12月21日（水）
実施場所	鈴鹿市天名小学校及び学校田
参加人数	90名
内 容	<p>① 昔の手作業による農業体験</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4月12日 5年生が粃まきを体験しました。 ・5月9日 全校児童で田植えを行いました。 ・9月2日 5年生が鎌を使って稲刈りを行いました。 <p>② 現在の機械化された農業を学ぶ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5月2日 5年生が温度管理されたビニールハウスで生育する苗を見学しました。 ・9月2日 5年生が草刈り機で畔の草を刈る体験をしました。 コンバインで稲刈りと脱穀を行う様子を見学しました。 ・9月6日 5年生が機械でお米を乾燥させ粃摺りを行う様子を見学しました。 <p>③ ロボットやAIを活用したスマート農業を学ぶ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・11月12日 5年生がスマート農業について調べたことを全校児童の前で発表しました。 <p>④ 6次産業を学ぶ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・11月12日 全校児童が6次産業を学び、おにぎりコンテストを実施しました。 <p>⑤ 12月21日 収穫したお米を鈴鹿市社会福祉協議会に寄贈しました。</p> <p>これらの活動を通して、児童は農業の技術革新を知ると同時に、農家の米づくりへの思いや苦勞も学ぶことができました。</p> <p>おにぎりコンテストは好評で「来年度も実施してほしいと」の声が、児童、保護者、学校運営協議会委員等から寄せられています。</p>
	




学 校 名	合川小学校
事 業 名	みんなでつくろう！SDGs ハンカチ
実施期間	令和4年11月1日（火） ～ 令和5年3月17日（金）
実施場所	合川小学校，児童各家庭
参加人数	79名
内 容	<p>自分たちなりに SDGs の取り組みを進めようと意識できるデザインを考え，募集したデザインを基に，SDGs ハンカチを作製し，児童や教職員が身に着け使用することで，SDGs の周知や，理解醸成につなげます。</p> <p>【内 容】</p> <p>① 合川小学校に在籍している全児童を対象に，一人につき1点，自分たちなりに SDGs の取り組みを進めようと意識できるデザインを募集しました。</p> <p>② 各クラスの学級担任に応募用紙を提出しました。</p> <p>③ 第1次審査 各学年の学級担任・校長・教頭が選定しました。</p> <p>第2次審査 全児童が第1次審査選定作品に投票。一人1票</p> <p>最優秀賞作品と優秀作品の2点をハンカチデザインとして採用し，業者に印刷依頼しました。</p> <p>【結 果】</p> <p>全児童79人がデザインを応募しました。第2次審査では，一人1台学習用端末を活用し，Google フォームで第1次審査選定作品6つの中から1つに全児童それぞれが投票しました。その結果，3年児童作品と5年児童作品が選ばれました。</p> <p>ハンカチを身につけ使用することで，SDGs への意識を高め，自分たちなりの取組を進められるように声をかけたり通信で知らせたりしました。</p>









学 校 名	合川小学校
事 業 名	やってみよう！SDGs
実施期間	令和4年11月1日（火） ～ 令和5年3月17日（金）
実施場所	合川小学校，児童各家庭
参加人数	79名
内 容	<p>本やインターネットを活用して SDGs について調べます。調べたことを基に，自分が実際にやってみます。自分が実際にやってみた行動を付箋に記入し，SDGs 一覧表の関連項目の欄に貼りました。SDGs について調べたり行動したりすることや一覧表を見ることで，SDGs の周知や，理解醸成につなげました。</p> <p>【内 容】</p> <p>① 本やインターネットを活用して SDGs について調べます。</p> <p>② 調べたことを基に，自分が実際にやってみます。</p> <p>③ 実際にやってみた行動を付箋に記入し，SDGs 一覧表の関連項目の欄に貼ります。</p> <p>【結 果】</p> <p>【2 飢餓をゼロに】「給食も家のごはんも残さず食べる」「食べられる分だけよそう」「買い物の時手前からとる」</p> <p>【5 ジェンダー平等を実現しよう】「ピンクシャツ運動を続ける」「男女関係なく遊ぶ」</p> <p>【7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに】「電気をこまめに消す」「早寝早起きをする。早く寝れば夜に電気を使わずに済むから</p> <p>など，児童なりの取組を行うことができました。</p>
	




学 校 名	井田川小学校
事 業 名	みんなで作ろう！ 使おう！ 井田川小学校 SDGs エコバッグ
実施期間	令和4年6月29日（水） ～ 令和5年3月8日（金）
実施場所	鈴鹿市立井田川小学校
参加人数	95名（3年～6年）
内 容	<p>児童が考案した SDGs の17のゴールのデザインをエコバッグにカラープリント印刷し、児童や教職員、学校支援ボランティアが活用することで、SDGs の周知や理解促進をねらいました。</p> <p>エコバッグのデザインを考案するに当たって、SDGs のことを学習しました。講師として、三重県地球温暖化防止活動推進センターの推進員を招きました。そして、「地球環境を守るために何ができるか」をよく考えて行動することが大切であることを学びました。</p> <p>井田川小学校オリジナルエコバッグな200枚作成して配布し、日常的に活用することで、レジ袋の削減につなげています。</p>






学 校 名	椿小学校
事 業 名	伝えよう！私たちが育った椿の町 ～見て、聞いて、感じて～
実施期間	令和4年5月30日（月） ～ 令和5年3月31日（金）
実施場所	椿小学校及び周辺の椿地区
参加人数	椿小学校児童111名，地域講師6名，地域の方々
内 容	<p>6年生が，自分たちが育ち暮らす椿のことを，改めて調べなおすことで，その良さを確認し，地元愛を育むと共に，その魅力を発信することで地元の活性化に貢献することを目標に事業を計画しました。</p> <p>インターネットや校内にある歴史書をもとに，地域の歴史的文化財や自然，特産品などを調べ，「椿小学校，椿大神社，入道ヶ岳，小岐須溪谷，茶畑」の5項目を中心にまとめ，それらをよく知るゲストティーチャーの方々をお招きしインタビューを行いました。その後，フィールドワークを行い，その場所の魅力を再確認，再発見した。その際，ドローンも用いながら，普段は見られない上空からの椿の様子も見ました。（ドローンの操作は本校職員。）最後に集まった情報や写真をもとに，スライドや動画，パンフレットにまとめました。</p> <p>校内や地域の人たちへの発信として，まずは「6年生を送る会」の中で，スライド・動画を使って6年生児童による学習のまとめの発表を，お世話になった地域の方，保護者，全校児童に向けて行いました。地域の方々から好評でした。</p> <p>パンフレットは鈴鹿PAや市役所，椿茶園さんへ置かせてもらい，訪れる人に手に取ってもらいました。パンフレットに作成した動画の検索ワードを掲載し，椿の魅力をまとめた動画を椿に興味をもった人に視聴してもらえよう工夫を行いました。</p>
	  



学 校 名	鈴西小学校
事 業 名	『陸の豊かさを守ろう』～カブトムシ・クワガタムシのいる森づくり～
実施期間	令和4年7月25日（月） ～ 令和4年12月27日（火）
実施場所	鈴西小学校 鈴西の森
参加人数	175名
内 容	<p>落葉集積所を増設し、カブトムシやクワガタムシの幼虫やさなぎが育つ環境を整えることができました。今年度については下記の写真のように採集することができました。今後は、この事業の成果を生かして、一年後、二年後には、もっとたくさんのカブトムシやクワガタが採集でき、かつ、子どもたちの笑顔や活気あふれる姿が見られる鈴西の森を作っていきたいです。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">    </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center; margin-top: 10px;">   </div>

学 校 名	深伊沢小学校
事 業 名	学校池再生プロジェクト
実施期間	令和4年7月30日(土) ~ 令和4年12月12日(月)
実施場所	深伊沢小学校 運動場
参加人数	300名
内 容	<p>昭和50年(1975年)本校が現在の地に移転され、校舎とともに整備された「池」があります。卒業生にとって池のコイに餌をあげたことが小学校時代の楽しかった思い出の一つとなっています。</p> <p>しかし長年、池の水循環ポンプの故障による水質汚濁、老朽化による池底部の躯体劣化等によるとおもわれる漏水も起こり、以前のように魚を飼うことができなくなっていました。そのような折、今回の鈴鹿市80周年レガシー事業の話が舞い込み、改修工事等の費用の一部にレガシー事業費を充て、7月30日に池の清掃、改修工事を行いました。</p> <p>その後11月19日に「FCE2022」(学校祭)において、児童、保護者、学校運営協議会、地域の方々が参加しSDGsを柱とした行事を行いました。その行事の一つとして、池の完成祝賀会、コイの放流を行った。祝賀会の中で、児童代表が「コイを大切に育てていきます」と宣言しました。現在の親世代が子どもだったころと同じような体験や思いを今の子どもたちにも味合わせてあげられる機会となりました。そして、現在は水循環ポンプの駆動には一般電力を使用しています。その電力に太陽光で発電した電力で駆動させるため、児童会が中心となり、アルミ缶を集め、回収業者に引き取ってもらった代金をもとにソーラー発電設備を導入する活動を始めました。また、今後の池の管理のため、PTA活動の環境整備の中に、池清掃を加え、会費の一部を積み立て、将来の設備維持管理費用に充てるなど継続した管理を考えています。</p>
	

学 校 名	庄内小学校
事 業 名	みんなで作ろう！航空写真の記念文字（市制施行80周年・創立125年目に向けて）
実施期間	令和4年5月16日（月） ～ 令和4年11月10日（木）
実施場所	鈴鹿市立庄内小学校運動場
参加人数	173名
内 容	<p>児童会を中心に、航空写真への参加を呼びかける回覧を作成したり、航空写真用の運動場の文字デザインを考えたりすることで、市制施行80周年、創立125年となる市や地域への郷土愛を醸成します。</p> <p>【内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 児童会を中心に地域回覧用のプリントを作成し、参加呼びかけと人数把握を行います。市制施行80周年、小学校創立125年目を記念した人文字デザインを募集し、地域・保護者の参加人数が決定したら、運動場の文字デザインを児童会だよりなどで周知します。 ② 新型コロナウイルス感染症対策（児童、保護者・地域の整列場所を分けるなど）をとりながら、7月6日に航空写真撮影を行います。 ③ 完成したクリアファイルを参加者に配布し市制施行80周年を祝います。 <div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: flex-start;"> <div style="width: 45%;">  <p>地域・保護者の皆様へ</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 鈴鹿市制施行80周年・庄内小学校創立125年目記念年 航空写真撮影のご案内 </div> <p style="text-align: center;">鈴鹿市立庄内小学校児童会</p> <p>いつも私たち、庄内小学校のためにたくさんお手伝い下さり、ありがとうございました。また、ありがとうございます。</p> <p>7月6日に庄内小学校では、「航空写真」を撮影することになりました。思いがけない思いますが、できれば地域の皆さんや家族と一緒に航空写真を撮影したいと思っております。</p> <p>新型コロナウイルス感染症も心配で初めて私たちと、地域の方、保護者は並ぶところを避けたいと目をつけています。どのような方法で参加して頂く方の人数を知りたいと思っております。参加して頂く方は、下の取り回しにご留意ください。ご返信でお待ちしております。</p> <p>※1日の行事に出席しませんが、新型コロナウイルス感染症の感染リスク増えで4月後半から5月上旬のみ撮影を行うことと御理解ください。</p> <p style="text-align: center;">----- 取り回り -----</p> <p>お名前 (_____)</p> <p>在籍 児童 (_____)</p> <p>住所 (_____)</p> <p>TEL番号 (_____)</p> <p>地区 (_____)</p>  </div> <div style="width: 50%;">  </div> </div>

学 校 名	庄内小学校
事 業 名	桜の木を植樹しよう！ （市制施行80周年）
実施期間	令和4年6月20日（月） ～ 令和4年11月10日（木）
実施場所	鈴鹿市立庄内小学校 運動場
参加人数	約24名 （6年児童15名，職員4名，地域づくり協議会5名）
内 容	<p>【事業の目的】 総合的な学習の時間にSDGs「15陸の豊かさを守ろう」を学習している6年生を中心に、昨年スズメバチの巣ができて桜の古木を伐採したことや地域が「桜祭り」など桜を大切にしていることから桜の木を記念植樹すると共に手作りの看板を作成して、市制施行80周年，創立125年となる市や地域への郷土愛を醸成します。</p> <p>【内容】</p> <p>① 6年生を中心に、市制施行80周年・創立125年目となる市や地域，小学校に対する郷土愛を表現した「記念植樹のための手作り看板」を作成し桜の木を植樹します。</p> <p>② SDGs「15陸の豊かさを守ろう」等について，6年生が学習してきたことを学校だより等で，他学年や地域，学校運営協議会，地域づくり協議会に周知をして，新しく植樹する桜をこれから大切にしていこうと考えていることを伝えていきます。</p> <p>【結果】</p> <p>・1学期 6年生がSDGs「15陸の豊かさを守ろう」等について学習を行いました。その際，スズメバチの巣が出来ていた為に伐採した桜の古木の代わりに記念植樹を行うことを計画しました。</p> <p>・10月6日 桜の木の植樹を行い，桜と「ゆりのき」をこれからも大切にしていこうことをセレモニーの中で確認しました。その際，庄内小のシンボルツリーである「ゆりのき」が手当の必要な状態であることが分かりました。10月22日・23日に地域の方に手当をして頂き，11月2日に，全校児童で「ゆりのき」の手当の仕上げを行い，これからも大切にしていこうことを確認しました。</p>
	


学 校 名	庄内小学校
事 業 名	学校・地域を花いっぱいにして楽しんでもらおう！（市制施行80周年）
実施期間	令和4年6月10日（金） ～ 令和4年9月30日（金）
実施場所	鈴鹿市立庄内小学校，庄内地区市民センター・公民館，JA鈴鹿庄内支店，庄内郵便局，北条公民館，南畑公民館，南条公民館，上野公民館
参加人数	環境福祉委員会，児童など 約100名
内 容	<p>「飼育小屋」横の花壇を花いっぱいにして再生し、「市制施行80周年記念」の看板を設置して，地域の人に楽しんでもらえるようにしました。また，集団登校の集合場所として利用させて頂いている公共施設等に「市制施行80周年記念・庄内小花いっぱい運動」のラベルを貼ったプランターを置いて地域を花でいっぱいにするこで活性化に取り組見ました。</p> <p>【内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 庄内代表者会，学校運営協議会，PTA 委員会にて，取組の主旨を説明し協力を依頼しました。 ② 環境福祉委員会にて，育てたい花やプランターを置かせて頂く施設，看板のデザイン等について話し合い計画を立てました。 ③ 「飼育小屋」横の花壇を耕し，花を育て，看板を設置しました。 ④ 地域の公共施設等にお手紙を持って依頼に行き，ラベルを貼ったプランターを置いて水やりなどの世話をしながら，地域が花いっぱいになるように取り組みました。
	 

学 校 名	郡山小学校
事 業 名	共に創ろう！「みんなの えがおが うれしい学校」プロジェクト
実施期間	令和4年10月3日（月） ～ 令和5年3月15日（水）
実施場所	○体育館（人権尊重の視点によるコンサート） ○教室および運動場（人権尊重、SDGs の視点による出会い学習および卒業記念製作）
参加人数	○人権尊重の視点によるコンサート 200名 ○人権尊重、SDGs の視点による出会い学習および卒業記念製作 36名 ○SDGs ターゲットを意識した学習 34名
内 容	<p>【事業内容】</p> <p>① SDGs の視点を加えた取組（教科等の学習）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・LGBT についての出会い学習、および卒業記念製作（虹の階段アート） ・SDGs ターゲットを意識した学習（ごみの分別、地球温暖化防止等） ・プラスサイズモデルとして活躍する卒業生を迎えた出会い学習 <p>② 人権尊重の視点による「ゆずりんコンサート」（学校行事）</p> <p>③ 学校の取組の発信（学校運営協議会、PTA 役員会）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校の様々な取組についてのプレゼンテーション <p>【結 果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当事者の思いや生き方に触れることにより、児童の人権感覚が高まりました。 ・SDGs を意識した教科等の学習を進めることにより、自分事として捉える力が育ちました。 ・保護者や地域代表者への発信を継続することにより、取組への協力を得ると共に、人権尊重の地域づくりや SDGs への理解醸成につながりました。今後の地域連携について学校運営協議会で委員より具体的な提案がなされるなど、共通理解が図られ連携が強まりました。
	 

■中学校

学 校 名	平田野中学校
事 業 名	みんなでつくろう平等な社会！SDGs「ジェンダー平等を実現しよう！」 レインボータオルメッセージを伝えよう！
実施期間	令和4年10月20日（月）～ 令和4年12月6日（火）
実施場所	鈴鹿市立平田野中学校
参加人数	427名
内 容	<p>・レインボータオルを作成し、校内に展示、 使用していくことで、LGBTQ+を中心とした人権について考える機会とし、SDGs17の中の5つ目の目標「ジェンダー平等を実現しよう！」の周知や、理解醸成につなげました。</p> <p>・生徒対象のLGBTQ+についての講演会を行い、出会い学習を通じて、人権意識を高め、SDGsの理解を深めました。</p> <p>【内 容】</p> <p>・レインボータオルメッセージ</p> <p>① 6色のタオルにあわせて、生徒が「ジェンダー平等の実現のために」のメッセージ作成。</p> <p>② タオルとメッセージを校舎内の廊下に展示。</p> <p>③ 平田野中オリジナルキャラクターがレインボーの柄をまとったシールとクリアファイル作成。</p> <p>・LGBTQ+の講演会 講師：山口 颯一 対象：2年生生徒，1年生生徒</p>



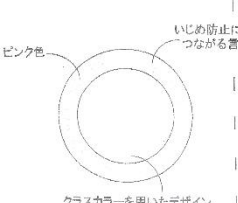

学 校 名	白鳥中学校
事 業 名	人権落語を聞いて、身の回りの人権について考えよう
実施期間	令和4年8月23日(火) ～ 令和4年12月12日(月)
実施場所	鈴鹿市立白鳥中学校
参加人数	383名
内 容	<p>落語家の林家染太を招いて、人権講演・人権落語を聞くことを通して、日常にある人権問題に目をむけ、人権意識をたかめます。</p> <p>【内 容】</p> <p>① 道徳「人の感じ方の違いや気持ちを理解する」「ちがいのちがい」</p> <p>② 人権落語を聞く。(講演 林家染太)</p> <p>③ 身の回りの「人権問題」と「みんなが楽しく生活するために、自分ができごと」を考えました。</p>
	

学 校 名	白子中学校
事 業 名	「SDGsの17の目標（持続可能な開発目標）」について考えよう
実施期間	令和4年10月1日（土）～ 令和4年12月31日（土）
実施場所	鈴鹿市立白子中学校
参加人数	全校生徒888名
内 容	<p>1. 事業内容</p> <p>第1時（事前学習：各クラス）</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 世界で起こっている様々な課題について考える ② SDGs バッジについて ※見たことはないか？ その意味は？ ③ SDGs の17の目標（持続可能な開発目標）を知る <p>第2時（講演：各学年）</p> <ul style="list-style-type: none"> ① SDGs について知る。 ② SDGs の17の目標（持続可能な開発目標）を知る ③ SDGs の達成に向けた、世界や日本の具体的な取組を知る <p>第3時（事後学習：各クラス・各学年）</p> <ul style="list-style-type: none"> ① SDGs の17の目標について振り返る ② SDGs の17の目標から1つ選び、今の私たちにできることを考える ③ 意見交流 <p>2. 結果</p> <p>「SDGsの17の目標（持続可能な開発目標）」について学習するにあたり、関心をもってもらうため、生徒一人ひとりにSDGs バッジを配布しました。また、事後学習において、自分たちにできることは何かということを考える時間をとったところ、給食の残食を減らしたり、節電・節水をしたりと、身近なところから環境問題について考える姿が見られるようになりました。</p>



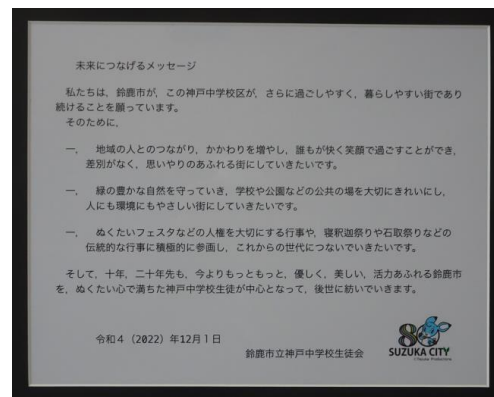
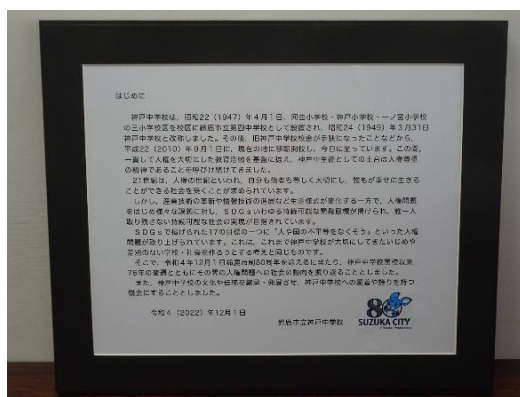
学 校 名	鼓ヶ浦中学校
事 業 名	鼓中2年生ができるSDGsを考えよう！ Tシャツでアピールしよう！！
実施期間	令和4年9月14日（水） ～ 令和4年12月7日（水）
実施場所	鈴鹿市立鼓ヶ浦中学校 第2学年教室
参加人数	全生徒139名 教員7名
内 容	<p>生徒がデザインしたTシャツを作成し、生徒が身に着けることで、SDGsの周知や理解につなげました。</p> <p>【内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① Tシャツに転写するデザインを生徒に描かせました。 ② そのデザインの中から、生徒間投票で、1点を決定しました。 ③ 業者委託をし、決定したデザインを転写してもらいました。 ④ 完成したTシャツは保健体育の授業や部活動での着用を認め、PRしていきました。 ⑤ 地域活動に参加するときにも、着用することを促し、SDGsに貢献しました。





学 校 名	創徳中学校
事 業 名	みんなでつくろう！SDGs（いじめ防止）カラーホイールバッジ
実施期間	令和4年7月12日（火）～ 令和5年1月10日（火）
実施場所	創徳中学校 各教室
参加人数	605名
内 容	<p>生徒会役員が中心となり、SDGsの「人や国の不平等をなくそう」という目標と関連して、「いじめ防止」をテーマとしたクラスオリジナルの缶バッジ制作を考案しました。</p> <p>1学期の終わりに生徒会からの提案を各クラスの室長が説明し、総合的な学習の時間の宿題として夏休みに一人一案缶バッジのデザインを考えました。</p> <p>【デザインの取組（課題）について】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① サイズは56ミリ ② 周囲の枠はピンク色（ピンクシャツ運動の取組の一環として） ③ ピンク色の枠にはいじめ防止につながる言葉を入れる ④ 中のデザインにクラスカラーを取り入れる <p>2学期のはじめにその中からクラスのデザインを決定しました。作成したバッジは、11月のいじめ防止月間に合わせて配付し、各自が通学カバン等につけ、「いじめを許さない」という雰囲気全校でつくり、いじめの問題について改めて考える機会となるよう取り組みました。</p> <div style="text-align: center;"> <p>生徒会より</p> <p>いじめ防止に向けた取組み</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>鈴鹿市制施行80周年記念として創徳中学校では、缶バッジを作ることにしました。テーマは「いじめ防止」です。1人1人がデザインを考え、クラスでデザインを1つに選び、缶バッジにします。そのバッジを11月のいじめ防止月間のピンクシャツ運動に合わせて付け、いじめ防止につなげましょう！</p> </div> <p>～作成のルール～</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 周囲の枠はピンク色 ② ピンクの枠にいじめ防止につながる言葉をかく ③ 中に、クラスカラーを用いたデザインをかく ④ カラーカラー（19334、99996、1122）は使わない <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;"> <p>< 見本 ></p>  <p>ピンク色</p> <p>いじめ防止につながる言葉</p> <p>クラスカラーを用いたデザイン</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>< Yourデザイン ></p>  </div> </div> </div>






学 校 名	神戸中学校
事 業 名	神戸中学校の文化と歴史の継承・発展！ ～誰もが幸せに生活できる学校・地域の担い手に～
実施期間	令和4年10月1日（土） ～ 令和4年12月27日（火）
実施場所	鈴鹿市立神戸中学校
参加人数	神戸中学校生徒773名
内 容	<p>昭和22年、鈴鹿市立第四中学校として開校以降75年を経る神戸中学校学校や校区の歴史をたどることができる写真や文字パネル20枚を作成し、生徒が学校や郷土鈴鹿への愛着や誇りを抱き、鈴鹿のまちづくりの担い手としての期待を込めることにつなげました。作成したパネルでは、神戸中学校や校区の歴史をたどる中で、これまで神戸中学校生徒の土台と捉えている人権尊重の精神を大切にすることとし、取り組んできた人権に関する主要な出来事などを重ね合わせて紹介し、人権文化の継承と発展を目にすることができるようにし、人権尊重の精神のさらなる高揚を図ることとしました。</p> <p>さらに、生徒会が中心となって全校生徒の意見や話し合いを通じて未来の鈴鹿のまちへの期待や神戸中学校生徒として人権尊重の精神を受け継ぐ思いを「未来につなげるメッセージ」としてとりまとめ、作成した20枚のパネルの最後の1枚としました。</p> <p>このことで、今後も人権尊重の精神を継承し、誰もが幸せに生活できる学校・地域の担い手となるための意識を高めることとしました。</p> <p>作成した20枚のパネルは、本館1階校長室前から会議室前に掲げ、生徒や教職員をはじめ、来校者の方にも目にさせていただくことができました。また、12月21日（水）に実施した人権集会で生徒会から全校生徒に「未来につなげるメッセージ」を発信しました。</p>



学 校 名	大木中学校
事 業 名	SDGs「つくる責任 使う責任」について取り組もう！
実施期間	令和4年7月1日（金） ～ 令和4年12月23日（金）
実施場所	鈴鹿市立大木中学校
参加人数	全校生徒（396名）
内 容	<p><目的></p> <p>大木中学校の給食残飯が多いことに注目し、残飯削減に取り組むとともに、SDGsの「つくる責任 使う責任」の観点で食品ロス削減についても全校生徒で学習を進めました。</p> <p><事業内容></p> <p>① 大木中学校の給食残飯量を測定 7月：取組周知前の残飯測定 9月：取組周知後の残飯測定</p> <p>② 生徒会から全校生徒へ周知 「給食残飯の状況」「SDGsの意義」「食品ロス削減の重要性」について、2学期始業式、文化祭発表、生徒会通信を通じて周知を行った。特に、給食残飯の削減については、生徒が個々に作成したポスターを掲示して啓発を行いました。</p> <p>③ 食品ロス削減をテーマに講演会を実施 11月17日（木）食品ロス削減講演会を開催（全校生徒対象） 講師：鈴鹿大学短期大学部 教授：櫻井秀樹 助手：西地洋子</p> <p><結果></p> <ul style="list-style-type: none"> ・残飯削減に向けた取組周知後に、残飯が減少したクラスがありました。 ・生徒会からの啓発等により、食品ロス削減の意識が高まりました。 ・講演会後のアンケート「食品ロス削減についての学びはあったか」では、「学びになった」58.5%、「とても学ぶことが多かった」39.6%と有意義な学習の機会とすることができました。
	 

学 校 名	千代崎中学校
事 業 名	千代崎中学校レガシー事業（人権教育の充実）
実施期間	令和4年10月11日（火） ～ 令和5年3月31日（金）
実施場所	鈴鹿市立千代崎中学校
参加人数	① 173名（3年生のみ）、 ② 538名（全校生徒）
内 容	<p>① 3年生の2学期の人権学習の講師として、11月7日（月）にトランスジェンダーモデルや性別違和・LGBTに関する講演の講師として活躍されている小西真冬さんを招き、多様性について学習しました。放課後に、希望者が小西さんとの座談会を行いました。</p> <p>② 生徒からダイバーシティに関するデザインを募集し、作品の意図や込めた思いを含めて校内に全作品掲示するとともに、優秀作品はクリアファイル（カラー）やエコバック（モノトーン）に印刷して全校生徒及び教職員に配布しました。</p> <p><クリアファイルデザイン>（各学年1名）</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="text-align: center;">  </div> </div> <p><エコバックデザイン>（全校1名）</p> <div style="text-align: center;">  </div>

学 校 名	天栄中学校
事 業 名	エネワンカー&エネワンバイクを製作して SDGs について考えよう
実施期間	令和4年7月11日(月) ~ 令和5年3月29日(水)
実施場所	鈴鹿市立天栄中学校
参加人数	20名
内 容	<p>【事業内容】</p> <p>大阪教育大学と連携し、貸与されたエネワンカーをリメイク、改良した。改良に当たっては、地域の自転車販売所や大阪産業大学等に指導助言を仰ぎました。その後、令和4年度、鈴鹿サーキットで開催された Ene-1 Challenge に出場しました。大会結果としては、Div-1 中学生部門で優勝することができました。</p> <p>また、本校の文化祭において、エネワンカーと SDGs の説明資料を展示し、SDGs の広報活動を行いました。展示場所には、校内の多くの生徒がきて、エネワンカーや資料等を閲覧しました。一部の生徒にインタビューした際、国語の授業で扱っている SDGs の内容と絡めながら SDGs について関心が高まった様子が見られました。</p> <p>現在は、リメイクしたエネワンカーを参考にしながら、0からエネワンカーを製作するために、部品の選考、3D-CAD による車体の設計、エネルギー効率の検討を行っています。次年度からは0から Ene-1 Challenge 出場に向けて、エネワンカーを製作するとともに、SDGs に関連した教材や題材を扱っている教科(国語科、理科、社会科、技術科など)と連携しながら SDGs について周知・広報活動を行いたいです。</p>
	

学 校 名	鈴峰中学校
事 業 名	多様な性について考えよう
実施期間	令和4年11月10日(木)
実施場所	鈴峰中学校体育館
参加人数	265名
内 容	<p>ELLY 代表である山口颯一氏を講師に招き、全校生徒を対象とした講演会を開催し、LGBT に対する理解を深めました。また、講演をもとに各学級で事後学習を実施しました。</p> <p>【内 容】</p> <p>① LGBT に関する講演会を開催しました。(5限目)</p> <p>② 講演内容をもとに、事後学習を行いました。(6限目)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各学級で「誰もが過ごしやすい学校」をテーマに、学校生活の見直しと改善案の交流を行いました。 ・講演会、事後学習の感想や自分の考え、思いを感想用紙へ記入しました。 <p>③ 生徒会と連携し、各学級での事後学習内容を学校全体へ報告しました。</p> <p>生徒から、「LGBT について理解を深めることができた。」、「身近な存在であることがわかった。」、「誰もが過ごしやすくなるためには、思いやりが大切である。」等の感想が得られました。また、誰もが過ごしやすい学級に関する話し合いは生徒が自主的に進めることができました。今後、学校生活の改善に生かす予定です。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>


(4) 冠付け事業



事業の内容は、各課から提出された次の報告書のとおりです。(機構順)



担当課名	冠付け事業名	頁
男女共同参画課	SUZUKA 女性活躍推進フォーラム	59
男女共同参画課	男女共同参画週間パネル展	59
文化財課 考古博物館	鈴鹿市制施行80周年記念事業 夏季企画展 史跡指定20周年記念「伊勢国府発掘物語」	60
文化財課 考古博物館	鈴鹿市制施行80周年記念事業 伊勢国分寺跡 史跡指定100周年記念 秋季特別展「国分寺」	61
スポーツ課	さつきラン&ウォーク2022 企業対抗戦	62
スポーツ課	鈴鹿ロゲイニング大会2022	63
スポーツ課	第25回鈴鹿シティマラソン	63
スポーツ課	都市対抗野球大会における Honda 鈴鹿硬式野球部のリーフレットの作成	64
スポーツ課	第93回都市対抗野球市民応援団	64
スポーツ課	オクトーバー・ラン&ウォーク2022	65
健康福祉政策課	第45回鈴鹿市社会福祉大会	66
長寿社会課	鈴鹿おどり de フレイル予防	67
障がい福祉課	鈴鹿市制施行80周年記念・鈴鹿市聴覚障害者協会創立55周年 「鈴鹿市」×「すずか DEAF」手話言語条例啓発イベント	68
福祉医療課	福祉医療費制度改正に係る周知・啓発事業	69
健康づくり課	すずか健康マイレージ事業	70
産業政策課	～鈴鹿市プレミアム付デジタル商品券を使って小規模店舗でお買い物～ 鈴鹿版 買い回りランニングスタンプラリー	71
産業政策課	第43回鈴鹿市民アイデア展	72
産業政策課	鈴鹿市ものづくり企業交流会	73
地域資源活用課	鈴鹿市制施行80周年×鈴鹿サーキット開場60周年 特別企画展 おかえりなさい「鈴鹿製作所生産第1号スーパーカブ」	74
地域資源活用課	鈴鹿市制施行80周年×鈴鹿サーキット開場60周年 周遊・体験型企画「スーパーカブと駆け抜けてきた時代」	74
地域資源活用課	鈴鹿市制施行80周年×鈴鹿サーキット開場60周年 特別企画展「世界のSUZUKAへと導いたHondaパワー」	75
地域資源活用課	市民祭応援特別企画事業	75



担当課名	冠付け事業名	頁
地域資源活用課	鈴鹿市制施行80周年・鈴鹿サーキット開場60周年 「スズカブ」特別展示 鈴鹿8耐「バイクであいたいパレード」コラボレーション企画 「鈴鹿ハンターやもんで、ハンターカブやに。」	76
地域資源活用課	鈴鹿市制施行80周年・鈴鹿サーキット開場60周年 特別企画展 「鈴鹿-音速の記憶」F1日本グランプリ フォトギャラリー	76
地域資源活用課	第48回 伊勢型紙彫型画展	77
地域資源活用課	鈴鹿市制施行80周年・鈴鹿サーキット開場60周年 特別企画「世界のSUZUKA 鈴鹿のF1」	78
地域資源活用課	記念入場券 鈴鹿市と近鉄沿線の成長軌跡	78
地域資源活用課	鈴鹿市制施行80周年×鈴鹿サーキット開場60周年 特別企画「SUZUKA eMotorSports Experience 2022」	79
地域資源活用課	市民祭応援特別企画事業	79
農林水産課	ハローツリー（記念樹）配布事業	80
農林水産課	第45回鈴鹿花き温室組合品評会	80
土木総務課	県民の日記念事業	81
市街地整備課	鈴鹿フラワーパークフェスタ2022	81
消防総務課	令和5年鈴鹿市消防出初式	82



事業名	SUZUKA 女性活躍推進フォーラム
実施期間	令和4年11月5日(土)
実施場所	イスのサンケイホール鈴鹿
参加人数	約500名
事業内容及び結果	<p>桑名市出身でダイヤル・サービス株式会社代表取締役社長の今野由梨様から、起業するまでの道のりや、起業してからの奮闘を直接お伺いできる貴重な講演会となりました。</p> <p>また、市長も登壇した座談会では、鈴鹿高専の学生の皆さんから今野氏や鈴鹿商工会議所の田中会頭へ積極的に質問がなされ、鈴鹿市を担う若い力への期待とともに未来に向けた大きな希望を見ることができました。</p>
	 



事業名	男女共同参画週間パネル展示
実施期間	令和4年6月5日(日) ~ 令和4年6月25日(土)
実施場所	イオンモール鈴鹿
参加人数	約315,000名(約15,000名/日) ※店舗来場者数
事業内容及び結果	<p>イオンモール鈴鹿の2階キッズスペース付近にて、男女共同参画について分かりやすくまとめたパネル展示を行い、多くの方に周知することができました。</p>
	

事業名	鈴鹿市制施行80周年記念事業 夏季企画展 史跡指定20周年記念「伊勢国府発掘物語」
実施期間	令和4年7月9日(土) ~ 令和4年8月31日(水)
実施場所	鈴鹿市考古博物館 特別展示室
参加人数	2,386名
事業内容及び結果	<p>伊勢国府跡の発掘調査の開始から30周年、史跡指定20周年を記念して、30年の発掘調査成果について、出土した軒瓦や国府政庁の模型、写真パネルを展示しました。</p> <p>また、子どもの理解を助けるため、子供向けのリーフレットを配布し、他機関より国府に関連するイラスト等を借用して展示しました。夏休み期間中ということで、多くの家族連れが訪れ、伊勢国府について、周知することができました。また、関連講演会・スライド説明会を開催し、伊勢国府跡に対する理解を深めることができました。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">   </div>

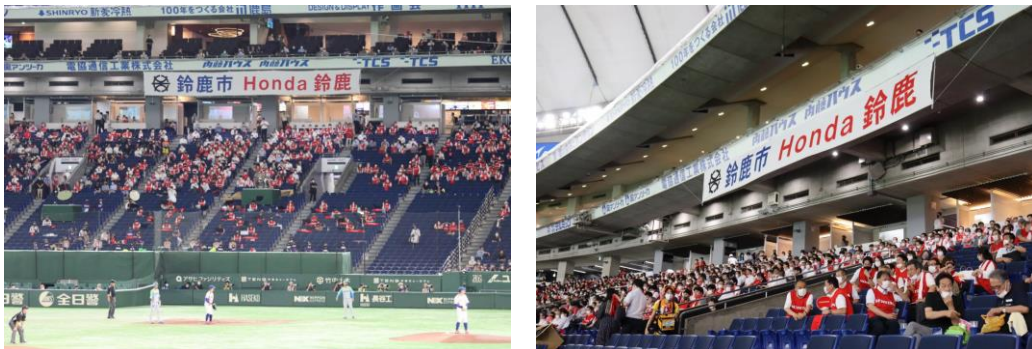
事業名	鈴鹿市制施行80周年記念事業 伊勢国分寺跡 史跡指定100周年記念 秋季特別展「国分寺」
実施期間	令和4年10月8日(土) ~ 令和4年12月18日(日)
実施場所	鈴鹿市考古博物館 特別展示室
参加人数	1,880名
事業内容及び結果	<p>本展示は、伊勢国分寺跡の史跡指定100周年を記念して企画しました。伊勢国分寺を中心に三重県内伊賀・志摩のほか、美濃、尾張、三河など、全国の国分寺の発掘調査成果、出土品、整備状況などを展示・写真パネル等で紹介しました。史跡・歴史公園として整備された各地の国分寺跡の活用の状況なども合わせて展示し、史跡伊勢国分寺跡歴史公園の今後の活用について、参考となるよう紹介しました。全国の国分寺跡と比較しながら、伊勢国分寺跡について理解を一層深め、全国に誇れる鈴鹿の文化遺産としての価値を広く一般に周知することができました。</p> <p>講演会を開催し、国分寺についての理解を深める一助とし、SNSを活用し、展示の見どころを紹介するとともに来館できない方に対するの情報発信も行いました。また、観覧後も展示の内容を学習することができるように、全国の国分寺跡の情報を掲載した図録を作成し、観覧者の満足度を向上させることができました。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">   </div>

事業名	さつきラン&ウォーク2022 企業対抗戦
実施期間	令和4年5月1日(日) ~ 令和4年5月31日(火)
実施場所	オンライン
参加人数	ウォーキングの部 103名, ランニングの部 29名
事業内容及び結果	<p>5月1日から5月31日に開催されウォーキングの部では1か月間の平均歩数, ランニングの部では1か月間平均距離を法人・事業所で競い合いました。</p> <p>鈴鹿市役所として参加し, ウォーキングの部は425位/1446団体, 平均歩数6,961歩, ランニングの部では205位/1163団体, 平均距離111.48kmという結果に終わりました。</p> <p>本事業を通じて, 職員の運動の習慣化や健康意識の向上を図るとともに, 鈴鹿市制施行80周年記念を周知することができました。</p>
	 

事業名	鈴鹿ロゲイニング大会2022
実施日	令和4年10月9日(日)
実施場所	弁天山公園(三重県鈴鹿市算所二丁目5番地)及び周辺地域
参加人数	257名
事業内容及び結果	<p>市内に設置された名所、旧跡などのチェックポイントをできるだけ多く制限時間内にまわり、撮影し、得られた点数を競う野外スポーツの大会です。</p> <p>前回は新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により中止となり、今回通算2回目の大会を迎え、多くの親子連れやウォーキング愛好者の参加により開催することができました。</p>
	 


事業名	第25回鈴鹿シティマラソン
実施期間	令和4年12月18日(日)
実施場所	鈴鹿サーキットレーシングコース(三重県鈴鹿市稲生町7992番地)
参加人数	3,894名
事業内容及び結果	<p>鈴鹿サーキットのレーシングコースを実際に走行し、全国的にも注目を集める本市の冬の風物詩であるマラソン大会を、10km、5.6km、2kmの3種目10部門に小学生から高齢者まで市内外から約3,894名の参加者を迎え実施することができました。</p> <p>また、当日は、鈴鹿市の物産品やスポーツチームコーナーを設置することにより、シティセールスを行うことができました。</p>
	 

事業名	都市対抗野球大会における Honda 鈴鹿硬式野球部のリーフレットの作成
実施期間	令和4年7月1日（金）～ 令和4年7月20日（水）
実施場所	－
参加人数	－
事業内容及び結果	<p>都市対抗野球大会において配布したリーフレットを作成しました。 【備考】 市長の寄稿部分に鈴鹿市制施行80周年記念テーマを使用しました。</p> 

事業名	第93回都市対抗野球市民応援団
実施期間	令和4年7月20日（水）
実施場所	東京ドーム（東京都文京区後楽一丁目3番61号）
参加人数	81名（応援団参加人数）
事業内容及び結果	<p>令和4年7月20日に東京ドームにおいて開催された第93回都市対抗野球大会のHonda鈴鹿硬式野球部とセガサミー（東京都代表）との試合会場において掲示し、鈴鹿市制施行80周年記念に関する周知を行いました。</p> 



事業名	オクトーバー・ラン&ウォーク2022
実施期間	令和4年10月1日(土) ~ 令和4年10月31日(月)
実施場所	オンライン
参加人数	ウォーキングの部 214名, ランニングの部 128名
事業内容及び結果	<p>10月1日から10月31日に開催されウォーキングの部では1か月間の平均歩数, ランニングの部では1ヶ月間平均距離を各自治体で競い合いました。</p> <p>本事業を通じて, 市民の運動の習慣化や健康意識の向上を図るとともに, 全国に鈴鹿市制80周年記念を周知することができました。</p>






事業名	第45回鈴鹿市社会福祉大会
実施期間	令和4年11月7日(月)
実施場所	イスのサンケイホール鈴鹿(市民会館)
参加人数	200名
事業内容及び結果	<p>【第1部】 式典 13:30 ~ 14:30 顕彰 鈴鹿市長感謝(22名6団体) 鈴鹿市社会福祉協議会会長表彰(56名5団体) 鈴鹿市共同募金委員会会長感謝(9名)</p> <p>【第2部】 記念講演会 14:45 ~ 15:45 講師:特定非営利活動法人 希望の園 理事長 村林 真哉氏 希望の園在籍アーティスト テーマ:【美術で活かされる人たちもいる】</p>
	 


事業名	鈴鹿おどり de フレイル予防
実施期間	令和4年4月20日(水) ~ 令和5年2月28日(火)
実施場所	市内のふれあいいきいきサロン(27か所)
参加人数	218名(YouTube撮影参加者)
事業内容及び結果	<p>ご当地の盆踊りとして市民に親しまれてきた「鈴鹿おどり」を、高齢者の通いの場である市内のサロンで踊っていただいた。</p> <p>盆踊りは、音楽に合わせた身振りをするため、脳への刺激と運動がフレイルの予防に効果的であると言われているほか、昔から親しんできた懐かしい音楽と踊りにより楽しい時間を共有することで一体感が生まれ、人と人とのつながりが強まることも期待できるものです。</p> <p>【対象者】 「ふれあいいきいきサロン」の参加者</p> <p>【実施方法】 サロン活動に「鈴鹿おどり」を取り入れていただく ・「鈴鹿おどり」のCD及びDVDの配付 ・生活支援コーディネーターによる踊りの指導 ・協力を得られたサロンで撮影し、作成した動画をYouTubeで配信</p> <p>【結果】 参加サロン：27サロン 内 CD配付：25サロン DVD配付：27サロン YouTube出演：15サロン(総勢218名) YouTube配信本数：3本(1本につき5サロン出演)</p>



事業名	鈴鹿市制施行80周年記念・鈴鹿市聴覚障害者協会創立55周年 「鈴鹿市」×「すずか DEAF」手話言語条例啓発イベント
実施期間	令和5年2月25日(土)
実施場所	鈴鹿サーキットホテル ミーティングルーム1
参加人数	241名
事業内容及び結果	<p>【主催】鈴鹿市聴覚障害者協会 【協力】鈴鹿市手話サークルとちの実 【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・映画「ヒゲの校長」上映及び尾中友哉氏講演会 午前の部 映画 9:30~11:30 午後の部 13:00~17:00 式典 13:00~13:15 映画 13:15~15:15 主演者講演 15:30~17:00 <p>【事業結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・午前の部103名 午後の部138名 計241名参加 ・広報、ホームページによる情報発信により、市民の参加が多くありました。 ・映画を通して「手話」、また講演を通して「聴覚障がい者」、それぞれに対する理解を市民に浸透させることができました。
	 


事業名	福祉医療費制度改正に係る周知・啓発事業
実施期間	令和4年8月1日（月）～令和5年3月31日（金）
実施場所	主に医療機関のロビーや受付への掲出
参加人数	30,777名
事業内容及び結果	<p>令和4年9月からの医療機関での窓口負担無料化の対象年齢拡大と令和5年4月からの子ども医療費助成制度の所得制限撤廃の福祉医療費制度改正に係る周知・啓発ポスターにて、新たに対象となる子どもの保護者に対し、制度の適切な利用を呼びかけ、持続可能な制度となるよう広く周知しました。</p> 


事業名	すずか健康マイレージ事業
実施期間	令和4年7月1日(金) ~ 令和5年3月31日(金)
実施場所	鈴鹿市内
参加人数	申請者数418名
事業内容及び結果	<p>◆個人の健康目標への取組みなどをポイント化し、貯めたポイントに応じて特典を交付するしくみ。418名の申請がありました。</p> <p>◆健康目標に活用できる運動等の折込チラシを三重ホンダヒートの協力で作成し、動画を配信や、救急健康フェア(R4.9.11)や市内ショッピングセンター(R4.11.22)、公民館などで健康教育を開催しました。</p> <p>◆特典は三重県内で特典が受けられる「三重とこわか健康応援カード」を500ポイント貯めた申請者418名に交付し、参加賞をプレゼントしました。</p> <p>また、418名のうち、1,000ポイント以上貯めた280名対象に抽選会(R5.3.22)を開催した。特典として、物産協会等からの協賛品や80周年応援事業に参加したAGF鈴鹿株式会社より自社商品協賛を当選者20名に発送しました。</p> <p>◆市制施行80周年として事業を実施することで、企業の協力を得ることができ、健康づくりの重要性を広く普及啓発し、市民の自主的かつ積極的な健康づくりへの取組みの強化と事業の普及を図ることができました。</p>
 	

事業名	～鈴鹿市プレミアム付デジタル商品券を使って小規模店舗でお買い物～ 鈴鹿版 買い回りランニングスタンプラリー
実施期間	令和4年9月20日（火）～ 令和5年2月17日（金）
実施場所	本市が発行するプレミアム付デジタル商品券「ベルディ Pay」の参加店で、かつ商工会議所が主催する本スタンプラリーの登録店舗
参加人数	・スタンプラリーの登録店舗 177店舗 ・スタンプラリー応募総数 3,527通
事業内容及び結果	<p>【事業内容】 鈴鹿商工会議所の主催事業として実施。スタンプラリー取扱店舗において、500円以上の買い物をした方にスタンプを1個押印し、スタンプの数（1個、3個、5個）に応じて、特定の景品コースに応募ができます。本市が発行したプレミアム付デジタル商品券「ベルディ Pay」を購入した本人のみが応募できます。総額100万円相当の景品が抽選で当たります。</p> <p>【結果】 3,527通の応募があり、厳正なる抽選の結果、 ○特賞（スタンプ5個） 10名 ○A賞（スタンプ3個） 40名 ○B賞（スタンプ1個） 100名を決定した。 特賞の抽選の様様については、令和5年2月17日に YouTube で動画を公開しました。鈴鹿商工会議所ホームページから動画を見ることができました。</p> 

事業名	第43回鈴鹿市民アイデア展
実施期間	令和4年9月22日(木) ~ 令和4年9月24日(土)
実施場所	鈴鹿ハンター 1階 センターコート
参加人数	2,772名(延べ人数)
事業内容及び結果	<p>鈴鹿ハンター1階センターコートにおいて、市内の小学生・中学生から応募のあった、工夫・考案の部(工作)230点、絵画の部63点、合計293点の作品を展示しました。展示期間終了後は、令和4年10月1日(土)~10月2日(日)に津リージョンプラザで開催される「令和4年度第51回三重県発明くふう展」(主催:一般社団法人三重県発明協会)へ、工夫・考案の部、絵画の部ともに30点の作品を出品しました。出品された児童はもとより、来場された方をはじめ市民に、科学・技術への関心を高め、豊かな創造性の啓発を図ることができました。</p>
	

事業名	鈴鹿市ものづくり企業交流会
実施期間	令和5年1月22日(日)
実施場所	鈴鹿ハンター 1階 センターコート, サブコート, 多目的広場, 屋外弁天広場
参加人数	777名(うち企業関係者100名, 市民677名)
事業内容及び結果	<p>鈴鹿ハンター1階センターコートにおいて、次の企画を実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○市内中小製造企業の技術や製品を紹介するための展示会 ○鈴鹿市ものづくり産業支援センターの連携機関による展示会 ○鈴鹿市ものづくり産業支援センターが行う現場支援や人材育成などの事業紹介 ○展示企業による自社PRタイム <p>また、サブコートは参加企業及び連携機関が商談や意見交換等を行うための商談コーナーとして利用しました。</p> <p>屋外弁天広場では、体験コーナーを設け燃料電池自動車（CLARITY FUEL CELL）の展示を実施しました。</p> <p>当初実施を予定していた多目的広場での高校生を対象にした企業紹介については、新型コロナウイルス感染症の拡大状況等を踏まえ、開催を中止としました。</p> <p>計777人に参加いただき、市内中小製造企業の技術や製品を展示等により広く紹介するという事業目的が達成できました。</p>
	 

事業名	鈴鹿市制施行80周年×鈴鹿サーキット開場60周年 特別企画展 おかえりなさい「鈴鹿製作所生産第1号スーパーカブ」
実施期間	令和4年5月25日(水) ~ 令和4年9月30日(金)
実施場所	鈴鹿市役所本庁舎 1階
参加人数	不明
事業内容及び結果	<p>今年、市制施行80周年を迎える本市と、開場60周年を迎える鈴鹿サーキット、そして本市の基幹産業である自動車産業の成長・発展の原点であり、ルーツとも言える「スーパーカブ」を周年の特別企画として展示しました。</p> <p>歴史的に貴重な個体である鈴鹿製作所生産第1号スーパーカブを目的に市外、県外から多数の問い合わせがあったことや来訪者があったことから、モータースポーツ振興と観光振興に大きく貢献したと考えられます。</p>
	

事業名	鈴鹿市制施行80周年×鈴鹿サーキット開場60周年 周遊・体験型企画「スーパーカブと駆け抜けてきた時代」
実施期間	令和4年7月15日(金) ~ 令和4年9月30日(金)
実施場所	鈴鹿市役所 市庁舎西玄関, 鈴鹿ハンター, 勝速日神社
参加人数	不明
事業内容及び結果	<p>1960年代当時の風景(街並み)を古い写真をもとに、フォトスタンド/ウィンドウディスプレイとして市内3か所に展示したことで、フォトスポットとして多くの人が写真撮影をしていました。</p>
	

事業名	鈴鹿市制施行80周年×鈴鹿サーキット開場60周年 特別企画展 「世界のSUZUKAへと導いたHondaパワー」
実施期間	令和4年7月8日(金) ~ 令和4年10月31日(月)
実施場所	新名神高速道路 鈴鹿パーキングエリア(鈴鹿PA) 地域資源PRコーナー区画①
参加人数	不明
事業内容及び結果	<p>3年ぶりに鈴鹿の地で開催されるF1日本グランプリを前に、本市の西の玄関口である鈴鹿PAでHondaF1の活動期別エンジンを展示したことで、広く「F1が開催されるまち・鈴鹿」を市内外に発信できました。</p> <p>また、本課が事務局を担当する「鈴鹿F1日本グランプリ地域活性化協議会」のTwitterで情報発信を行ったところ反響があり、エンジンを見に鈴鹿PAを訪れる人が増え、鈴鹿PAが目的地となっていました。</p>



事業名	市民祭応援特別企画事業
実施期間	令和4年7月19日(火) ~ 令和4年9月10日(土)
実施場所	鈴鹿市内一円
参加人数	不明
事業内容及び結果	<p>市役所庁舎1階市民ギャラリーにて、周年ロゴを使用したヘッドマーク及びPR動画の放映を行い、市民祭である鈴鹿げんき花火大会をPRすることができました。また、来庁された市民がヘッドマークと写真を撮る姿もみられました。</p> <p>鈴鹿げんき花火大会の当日、近畿日本鉄道株式会社とコラボにより、ヘッドマークを装着した臨時列車を運行させたことで、市内の利用客にも市民祭をPRすることができました。</p>



事業名	鈴鹿市制施行80周年・鈴鹿サーキット開場60周年 「スズカブ」特別展示 鈴鹿8耐「バイクであいたいパレード」コラボレーション企画 「鈴鹿ハンターやもんで、ハンターカブやに。」
実施期間	令和4年8月6日(土) 10時~18時
実施場所	鈴鹿ハンター センターコート
参加人数	500名
事業内容及び結果	<p>本市発展の原動力となった「スーパーカブ」をテーマとした貴重な車両を展示し、ライダー間での交流機会を提供しました。</p> <p>「バイクであいたいパレード」の出發会場となる「鈴鹿ハンター」で実施したことにより、開始までの空き時間には、多くのライダーや、一般のお客様で人だかりができていました。</p>





事業名	鈴鹿市制施行80周年・鈴鹿サーキット開場60周年 特別企画展 「鈴鹿-音速の記憶」F1日本グランプリ フォトギャラリー
実施期間	令和4年8月1日(月) ~ 令和4年10月14日(金)
実施場所	中部国際空港 国内線到着コンコース
参加人数	不明
事業内容及び結果	<p>空の玄関口である中部国際空港株式会社にて、F1に関連した写真展を実施したことで、鈴鹿を訪れる前から、ウェルカムムードの醸成を図りました。</p> <p>また、中部国際空港株式会社のTwitterで発信してもらったことで、モータースポーツ好きでない層に対しても、広く「F1が開催されるまち・鈴鹿」の魅力を地域内外に発信できました。</p>





事業名	第48回伊勢型紙 彫型画展
実施期間	令和4年9月8日（木）～ 令和4年9月11日（日） 午前9時～午後5時（最終日は午後3時まで）
実施場所	三重県総合文化センター文化会館第2ギャラリー（津市一身田上津部田1234）
参加人数	826人名
事業内容及び結果	<p>本市の伝統的工芸品である「伊勢型紙」に用いられる彫刻技法を活かして創作した「彫型画」を広く募り、全国公募の展覧会として開催しました。</p> <p>826名の来場と48名の体験彫りへの参加があり、伊勢型紙の普及啓発、振興につなげることができました。</p> <div data-bbox="639 763 1106 1447" style="text-align: center;"> <p>【添付資料（受賞者と受賞作品、体験彫り、新聞掲載、会場の様子）】</p>  </div>


事業名	鈴鹿市制施行80周年・鈴鹿サーキット開場60周年 特別企画 「世界のSUZUKA 鈴鹿のF1」
実施期間	令和4年9月24日(土) 11時～17時
実施場所	イスのサンケイホール鈴鹿
参加人数	1,200名
事業内容及び結果	<p>3年ぶりに開催されるF1日本グランプリ開催前に、国内外のモータースポーツシーンで活躍する著名人を招いたフォーラムを開催したところ、市内、市外から約700名が訪れました。</p> <p>また、同時開催のEXPOでは、国内のeモータースポーツ関連の協力事業者が所有する様々な種類のレーシングシミュレーターの体験搭乗の機会を提供し、約500名がeモータースポーツに触れ合いました。</p>
	 



事業名	記念入場券 鈴鹿市と近鉄沿線の成長軌跡
実施期間	令和4年12月1日(木)
実施場所	近畿日本鉄道(株)HP
参加人数	309名
事業内容及び結果	<p>近畿日本鉄道(株)HP内において、市制施行80周年の冠称をつけた記念入場券を販売したことにより、市制施行80周年の記念日を全国の鉄道ファンにアピールすることができました。</p> <p>また、入場券に白子駅周辺の散策マップのQRコードを掲載することで、購入者へ白子駅周辺の観光スポット等をPRすることができ、本市への観光誘客及び観光人口の創出に寄与したと考えられます。</p>
	

事業名	鈴鹿市制施行80周年×鈴鹿サーキット開場60周年 特別企画 「SUZUKA eMotorSports Experience 2022」	
実施期間	令和4年12月17日(土) ~ 令和4年12月18日(日)	
実施場所	市庁舎1階及び市庁舎周辺	
参加人数	12月17日 約720名, 12月18日 約150名	
事業内容及び結果	<p>若年層を中心に高い人気を誇るシミュレーター体験を通して、ファン及び事業者同士のコミュニティの場の提供を行うことができ、終始人の波が途絶えることはありませんでした。</p> <p>また、普段はバーチャル上でしか見ることが出来ないリアルなレースの場で活躍するドライバーの走りを、会場で見ることができるとあって、多くの人が見入っていました。しかし、12月17日のみ実施した「SUZUKA FAN×FAN PLACE」は、天候の影響や、店の前にポップがない等、何を販売しているのか一目でわかりづらかったため、売り上げは思うほど伸びませんでした。</p>	


事業名	市民祭応援特別企画事業	
実施期間	令和5年3月10日(金) ~ 令和5年3月26日(日)	
実施場所	鈴鹿市役所 本庁舎1階 市民ロビー内	
参加人数	不明	
事業内容及び結果	<p>市役所庁舎1階市民ギャラリーにて、周年ロゴを使用したフォトスタンドを展示することで、鈴鹿さくら祭り2023をPRすることができました。また、来庁された市民がフォトスタンドを背景に写真を撮る姿もみられました。</p>	

事業名	ハローツリー（記念樹）配布事業
実施期間	令和4年10月29日（土）～ 令和4年10月30日（日）
実施場所	鈴鹿フラワーパーク
参加人数	300組
事業内容及び結果	<p>令和4年10月29日（土）30日（日）に開催された、本市後援の第51回三重県植木まつりにおいて、新入学や結婚等記念がある市民300組に対し市内で生産された苗木を配布しました。</p> <p>その結果、植物に愛着を持ち、緑の大切さを伝えることができ、また、自身の記念を祝うとともに本市の市制施行80周年の祝賀の気運を高めることができました。</p>
	

事業名	第45回鈴鹿花き温室組合品評会
実施期間	令和4年12月2日（金）～ 令和4年12月9日（金）
実施場所	鈴鹿市役所1階 市民ロビー
参加人数	約200名
事業内容及び結果	<p>市内の花き生産者団体である「鈴鹿花き温室組合」が花き産業の振興を目的に、組合員の生産技術の成果の発表の場として、多くの市民の目に触れる場で品評会を開催しました。</p> <p>作品テーマ：「鈴鹿市制施行80周年を彩る花」</p> <p>その結果、人気投票用のシールが足りなくなるほどの盛況ぶりであり、花き産業の振興と鈴鹿市制施行80周年のお祝いムードを盛り上げました。</p>
	

事業名	県民の日記念事業
実施期間	令和4年4月16日(土)
実施場所	市役所東側 県道四日市鈴鹿環状線沿い
参加人数	120名
事業内容及び結果	<p>県民の日に県が実施する花植え活動に合わせ、地元と関係団体が一緒に花植えをすることで、市制施行80周年の周知を図ることを目的としました。</p> <p>当日は、準備した材料を使い、参加者の手により花植えプランターを80個製作し、市役所東側の県道沿いに設置しました。</p> <p>地元の神戸地区住民はじめ、関係機関や団体の参加者によって、色とりどりのプランターが市役所庁舎周辺に飾られ、市制施行80周年を祝う機運の醸成に大きく寄与しました。</p>
	 

事業名	鈴鹿フラワーパークフェスタ2022
実施期間	令和4年11月20日(日) 午前10時～午後2時
実施場所	鈴鹿フラワーパーク(加佐登町1690-1)
参加人数	2,000名
事業内容及び結果	<p>新鮮野菜などの販売、模擬店の出店、大道芸人によるパントマイム&マジックショー、バンド演奏などをし、地域の活性化に寄与するとともに、鈴鹿市制施行80周年記念を周知することができました。</p>
	 

事業名	令和5年鈴鹿市消防出初式
実施期間	令和5年1月8日(日)
実施場所	鈴鹿サーキット レーシングコース
参加人数	消防職員150名 消防団員330名
事業内容及び結果	<p>【事業内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 式典 2 鈴鹿市立鈴峰中学校吹奏楽部による演奏 3 若松分団による消防操法披露 4 大規模災害対応団員によるパフォーマンス 5 消防署による救助訓練 6 消防団による一斉放水 <p>【結果】</p> <p>5,500名の来場があり、市の年頭行事として消防の旺盛な士気と装備等の消防力を披露し、消防への理解を深め、市民の皆さんの自助・共助意識を醸成させることにつながることができました。</p> 



2 市民などの主導による事業


(1) 応援事業



応援事業として、次の19事業が実施されました。



なお、事業の内容は、届出者からの報告に基づくものです。(届出順)



団体名	応援事業名	頁
公益財団法人 鈴鹿市文化振興事業団	鈴鹿市制施行80周年・鈴鹿市文化振興事業団25周年記念事業 『鈴鹿と・き・め・き音楽祭』	84
輝く瞳 Wara ひろば	市制施行80周年記念事業『Waraひろば親子体験教室』	84
愛宕下第一自治会	愛宕カルテット (A4)	84
公益財団法人 鈴鹿市文化振興事業団	鈴鹿市制施行80周年記念事業・鈴鹿市文化振興事業団25周年記念事業 鈴鹿 獅子舞サミット2022	84
鈴鹿花火実行委員会	鈴鹿市制施行80周年記念事業 鈴鹿げんき花火大会2022	85
公益財団法人 鈴鹿市文化振興事業団	鈴鹿市制施行80周年 鈴鹿市文化振興事業団設立25周年記念番組 鈴鹿市文化振興事業団放送セミナー「軍都から近代都市へ～鈴鹿市を形づくった時代～」	85
株式会社鈴鹿グランドボウル	鈴鹿市制施行80周年記念事業 ボウリングメカ裏あるある探検隊	85
公益財団法人 鈴鹿市文化振興事業団	鈴鹿市制施行80周年・鈴鹿市文化振興事業団25周年記念事業 音楽の絵本 ～コンアモーレ～	85
伊勢形紙協同組合	鈴鹿市制施行80周年記念事業 2022 匠の里・伊勢型紙フェスタ	86
肥田町ワイワイ倶楽部	鈴鹿市制施行80周年記念 新旧住民の交流の輪づくり	86
三重カブミーティング実行委員会	鈴鹿市制施行80周年記念事業 三重カブミーティング in 椿大神社	86
劇団花さつき	鈴鹿市制施行80周年記念「家康ゆかりのまち～白子～」	86
鈴鹿市の戦争遺跡を保存・ 平和利用する市民の会	市制施行80周年記念 鈴鹿にも戦争があった あのころといまと 講演と対話のつどい	87
PORTJAZZ UNION	市制施行80周年記念 PORTJAZZ festival in 鈴鹿 2022	87
伊勢国分寺まつり実行委員会	鈴鹿市制施行80周年記念 史跡指定100周年記念事業 伊勢国分寺まつり	87
有限会社 三鈴印刷	鈴鹿市制施行80周年 日本グランプリ2022ガイドブック発行事業	87
西条発展会	鈴鹿市制施行80周年 第3回 西条 de ガッツリ祭	88
愛宕下第一自治会	鈴鹿市制施行80周年記念事業「愛宕山ウォークラリー大会」 (愛宕チルドレンサービス・愛宕児童クラブあおぞら共催)	88
鈴鹿さくら祭り実行委員会	鈴鹿市制施行80周年記念事業 鈴鹿さくら祭り2023	88



事業名	鈴鹿と・き・め・き音楽祭	事業名	Waraひろば親子体験教室
実施期間	令和4年7月3日(日)	実施期間	令和4年5月1日(日) ~ 令和5年3月31日(金)
実施場所	イスのサンケイホール鈴鹿	実施場所	鈴鹿ハンター
参加人数	306名	参加人数	870名
事業内容及び結果	<p>鈴鹿と・き・め・きカルチャー大使が集合し、ここでしか観られない演奏などが繰り広げられました。</p> 	<p>小さい子どもでも楽しめる内容のワークショップを開催しました。</p> 	



事業名	愛宕カルテット(A4)	事業名	鈴鹿 獅子舞サミット2022
実施期間	令和4年4月25日(月) ~ 令和4年11月13日(日)	実施期間	令和4年11月27日(日)
実施場所	愛宕公園, 愛宕山ほか	実施場所	イスのサンケイホール
参加人数	132名	参加人数	1,000名
事業内容及び結果	<p>様々な活動を通して、地域の交流の活性化や愛宕の歴史などを学ぶことができました。</p> 	<p>地域の伝統文化に触れ、獅子舞のもつ面白さ、奥深さに理解を深めてもらうことができました。</p> 	

事業名	鈴鹿げんき花火大会2022	事業名	鈴鹿市文化振興事業団放送セミナー「軍都から近代都市へ～鈴鹿市を形づくった時代～」
実施期間	令和4年9月10日(土)	実施期間	令和4年8月2日(火)～ 令和4年8月30日(火)
実施場所	白子港緑地周辺	実施場所	CNS12ch, CTY12chにて放映
参加人数	約5,000名	参加人数	－
事業内容及び結果	<p>3年振りの開催で、花火の素晴らしさを伝えることが出来ました。</p> 	<p>当時の貴重な資料や写真、証言を元に鈴鹿市の現在への道筋を辿る番組を放映しました。</p> 	



事業名	ボウリングメカ裏あるある探検隊	事業名	音楽の絵本 ～コンアモーレ～
実施期間	令和4年10月30日(日)	実施期間	令和5年2月12日(日)
実施場所	鈴鹿グランドボウル	実施場所	イスのサンケイホール
参加人数	63名	参加人数	1,093名
事業内容及び結果	<p>普段見る機会がないボウリングマシンの仕組みなどを観察する体験型のイベントを実施しました。</p> 	<p>親子で楽しめるクラシックコンサートを開催し、来場者の方から「次回を楽しみにしている」との声が聞かれました。</p> 	


事業名	2022 匠の里・伊勢型紙フェスタ	事業名	新旧住民の交流の輪づくり
実施期間	令和4年10月28日(土) ~ 令和4年10月29日(日)	実施期間	令和4年10月23日(日)
実施場所	鈴鹿市伝統産業会館 伊勢型紙資料館ほか	実施場所	鈴鹿市肥田町字砂田437-1 (休耕田)
参加人数	837名	参加人数	70名
事業内容及び結果	<p>様々なイベントを実施し、伊勢型紙を身近なものとして実感、体験してもらうことができました。</p> 	<p>多くの地域の方に参加していただき、いもほりやハロウィンカボチャの顔づくりなどを通じて地域の活性化に繋がりました。</p> 	

事業名	三重カブミーティング in 椿大神社	事業名	「家康ゆかりのまち～白子～」
実施期間	令和4年9月24日(日)	実施期間	令和4年12月20日(水) ~ 令和5年3月19日(日)
実施場所	椿大神社(第2駐車場)	実施場所	白子地区おおびその周辺
参加人数	1,300台(参加カブ台数)	参加人数	1,493名
事業内容及び結果	<p>全国から多くの参加者を誘客することができ、会場となった椿大神社のPRや市内の周遊にも繋がりました。</p> 	<p>白子の方々と共に様々なイベントを企画し、白子の町の魅力について、多くの方に再確認又は新しい発見をして頂けました。</p> 	

事業名	鈴鹿にも戦争があった あのころといまと 講演と対話のつどい	事業名	PORTJAZZ festival in 鈴鹿 2022
実施期間	令和4年11月6日(日)	実施期間	令和4年10月10日(月)
実施場所	ジェフリーすずか ホール	実施場所	鈴鹿市 桜の森公園
参加人数	50名	参加人数	800名
事業内容及び結果	<p>講師による戦時中の実体験に基づく話には、参加者の方が聞き入っており、時折涙する方もみえました。市民の方の関心も高く次回へと繋がる事業になりました。</p> 	<p>多くの方のご来場で生演奏を身近に感じて頂けました。マルシェも好評で手作り楽器などには奏法を尋ねるお子様も見られました。</p> 	

事業名	伊勢国分寺まつり	事業名	日本グランプリ2022 ガイドブック発行事業
実施期間	令和4年10月24日(土)	実施期間	令和4年10月5日(水) ~ 令和4年10月9日(日)
実施場所	伊勢国分寺跡歴史公園	実施場所	市内の配布場所
参加人数	約1,200名	参加人数	40,000部発行
事業内容及び結果	<p>舞台発表や体験ブースを通じて、多くの子ども達に、古代の生活に思いを馳せながら、楽しんでもらうことができました。</p> 	<p>ガイドブックを発行したことで、鈴鹿を訪れた方々に、グルメをはじめ鈴鹿の魅力を発信できました。</p> 	

事業名	第3回 西条 de ガッツリ祭	事業名	「愛宕山ウォークラリー大会」
実施期間	令和4年11月5日(土)	実施期間	令和5年3月28日(火) ~ 令和5年3月29日(水)
実施場所	西条中央公園	実施場所	愛宕山, 愛宕公園, 愛宕神社
参加人数	約3,000名	参加人数	75名
事業内容及び結果	<p>多くの地域の方に参加していただき、フリーマーケットやマルシェを通じて、地域の交流の活性化ができました。</p> 	<p>愛宕山をグループ別で、チェックポイントを探しながら、散策・花見などを楽しみ、地域の交流を深めることができました。</p> 	

事業名	鈴鹿さくら祭り2023
実施期間	令和5年3月25日(土) ~ 令和5年3月31日(金)
実施場所	旭化成(株)鈴鹿製作所 桜並木及び陸上グラウンド周辺
参加人数	約30,000名
事業内容及び結果	<p>近隣自治会にも活動の理解を呼びかけ、市内外から観光誘客を促し、地元企業とともに町の活性化に寄与することができました。</p> 

Ⅲ 啓発・広報

本市が市制施行80周年であることを、様々な啓発物品や媒体を通じ、市内外に広く情報発信を行いました。

1 啓発物品

(1) のぼり旗・ミニのぼり旗

市本庁舎、各地区市民センター、市関連施設などに設置しました。また、各記念事業を実施する際には、会場などにも設置しました。

▼のぼり旗



▼ミニのぼり旗



(2) 懸垂幕・横断幕

懸垂幕は市本庁舎の東側壁面に掲揚し、横断幕は市本庁舎2階に掲揚しました。

▼懸垂幕



▼横断幕



(3) 公用車用マグネットシート



(4) バックボードパネル

記者会見や表敬訪問時の撮影の際に活用しました。



(5) 職員用名札・名刺

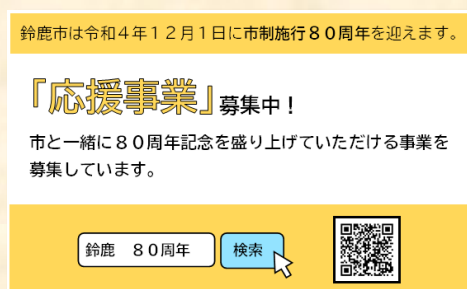
▼名札



▼名刺 (横・表)



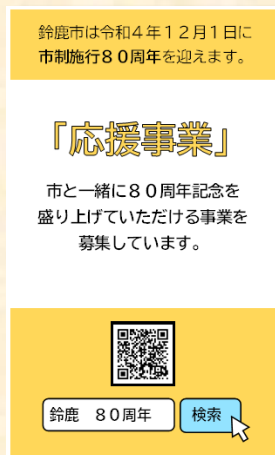
▼名刺 (横・裏)



▼名刺（横・表）



▼名刺（横・裏）



(6) オンライン会議用背景



2 広報すずか・市ホームページ・SNS

(1) 広報すずか特集（令和4年3月5日号掲載）

市制施行80周年を迎えた本市がこれから先、どんなまちになってほしいか、市民の皆さんにインタビューをした内容や、80年の歴史を写真と共に振り返る内容など、表紙を含め、7ページにわたる特集記事を掲載しました。



(2) 広報すずか裏表紙「鈴鹿のレガシー」

広報すずか毎5日号の裏表紙に、80周年にちなんだ内容の記事を掲載しました。

No.	掲載内容	掲載号
第1回	データでみる80年（鈴鹿市の市域）	2022年 4月5日号
第2回	データでみる80年（鈴鹿市の人口推移（国勢調査人口））	2022年 5月5日号
第3回	データでみる80年（一般会計歳出決算額の推移）	2022年 6月5日号
第4回	写真でみる80年（県道鈴鹿環状線（通称：中央道路）周辺）	2022年 7月5日号
第5回	写真でみる80年（玉垣周辺）	2022年 8月5日号
第6回	写真でみる80年（白子（国道23号）周辺）	2022年 9月5日号
第7回	写真でみる80年（神戸周辺）	2022年10月5日号
第8回	写真でみる80年（鈴鹿サーキット）	2022年11月5日号
第9回	写真でみる80年（記念事業のようす）	2022年12月5日号
第10回	鈴鹿の未来に向けて（市制施行80周年記念 みんなで創ろう！レガシー事業（箕田小学校））	2023年 1月5日号

No.	掲載内容	掲載号
第11回	鈴鹿市の未来に向けて（市制施行80周年記念 みんなで創ろう！レガシー事業（桜島小学校））	2023年 2月5日号
第12回（最終回）	鈴鹿市の未来に向けて（市制施行80周年記念 みんなで創ろう！レガシー事業（大木中学校））	2023年 3月5日号



(3) 鈴鹿市ホームページ

鈴鹿市ホームページ内に、特設ページを開設し、各記念事業の周知や応援事業の募集を行いました。

また、トップページには、アクセスし易いようにバナーを設置しました。

▼特設ページ

[トップガイド](#) | [行政ガイド](#) | [安全・安心ガイド](#) | [事業所向け案内](#) | [よくある質問](#)

[12月1日 > 鈴鹿市制施行80周年記念事業 > 鈴鹿市制施行80周年記念事業一覧](#)

鈴鹿市制施行80周年記念事業

鈴鹿市制施行80周年記念事業一覧

担当：総合政策課 (TEL 059-382-9038 FAX 059-382-9040)

鈴鹿市は、令和4年12月1日（木曜日）に市制施行80周年を迎えます。この節目の年を、全てが市民が祝い、市内に活気があふれるように、令和4年4月1日（金曜日）から令和5年3月31日（金曜日）の期間に、次の記念事業を実施する予定です。

※事業については、新型コロナウイルス感染状況などにより、変更や中止になる場合があります。
 ※事業一覧（見出し）の事業名をクリックすると各事業の詳細をご覧いただけます。
 ※記念事業は、逗点、横線を付記簿を行います。
 ※各事業の詳細は、各問合せ先にてご確認ください。

記念事業一覧

事業区分	事業名	問い合わせ先
応援事業	市制施行80周年記念事業「Warat-toriは親子体験教室」	福く博Warat-tori TEL: 080-4304-4016
運行事業	鈴鹿市制施行80周年記念事業「鈴鹿おどろけフェスティバル」	養育社会課 地域包括ケアシステム推進室 TEL: 059-382-9986 FAX: 059-382-7607 電子メール: chojushukai@cit.y.suzuka.lg.jp
応援事業	市制施行80周年記念事業 A4（愛称：愛音カルテット）	愛音下第一自治会A4実行委員会 実行委員長 横田崇治 TEL: 059-386-4962 住所: 鈴鹿市北江豊町53-11

▼バナー

Amigo SUZUKA

メルモニに登録しよう

鈴鹿市公式 facebook

ツイッターをフォロー

鈴鹿市 LINE 公式アカウント 友だち追加

鈴鹿市制施行 80周年記念事業 一覧はここから!

さあ、鈴鹿。 暮らし、山あり、水の恵あり!

シティガイド

- プロフィール
- 統計
- 交通アクセス
- 地理情報
- オープンデータ

(4) SNS (Twitter・facebook・LINE)

▼市 Facebook



(5) パネル展示

ア みんなで創ろう！レガシー事業パネル展示
事業の結果について、広く周知を行うために、みんなで創ろう！レガシー事業のパネル展示を行いました。

●記念式典来賓者向け展示

令和4年12月1日(木)に、記念式典会場(イスのサンケイホール鈴鹿)で、パネル展示を行いました。

●一般向け展示

令和4年12月2日(金)から12月16日(金)まで、市役所本館1階市民ホールでパネル展示を行いました。

イ 鈴鹿市制施行80周年記念事業パネル展示

令和5年5月29日(月)から令和5年6月4日(日)まで、記念事業のテーマになぞらえ、事業の結果を紹介するパネル展示を、市役所本館1階市民ギャラリーで開催しました。



IV 事業の総括

市制施行80周年は、コロナ禍により、活動が制限され、これまで市を盛り上げてきたイベントの多くが、中止や延期、規模の縮小を余儀なくされる中で迎えました。

しかし、世界的な危機をみんなで乗り越えるべく、80年間の英知を結集し、これまで歴史の中で培ったモノだけにとられることなく、新たなものを積極的に取り入れながら、様々な事業に挑戦しました。

80周年記念事業は、『「継承×挑戦」の80年 未来に向かって輝け鈴鹿!』というテーマになぞらえ、SDGsの達成につながる事業が多くあり、市民の方の関心の高さが感じられました。

また、「新たなことへの挑戦。」「地域の活性化につながること。」「みんなが楽しめること。」という3つの視点に沿った取組を進めることができました。

市制施行80周年を契機とする周年事業の実施に当たっては、鈴鹿市ホームページなどの従来の方法に加え、あらたにSNS等を使用し発信したことで、多くの市民の方が参加し、地域の交流が活性化されました。

本市主導による「冠付け事業」については、多くの事業で市民の方が参加し、楽しめるような企画を実施し、各事業を通して延べ37万5,227人（※実績報告の参加人数の合計値）の方に参加いただきました。

市制施行80周年を広く周知ができ、多くの方に参加し、盛り上げていただき、周年事業の基本方針「みんなが楽しめること」の視点からの事業が実施できました。

また、市内の小・中学校の児童・生徒を中心に取り組んでいただいた「みんなで創ろう!レガシー事業」は、SDGsの達成に向けた取組や、伝統や歴史を取り上げたものが多く、児童及び生徒がSDGsへの関心や、地域の伝統や歴史を知る機会につながり、基本方針「新たなことへの挑戦」の視点からの事業が実施できました。

さらに、市民の方の主導による事業の応援事業については、地域との交流に重点を置いたものが多く、地域交流の活性化につながり、基本方針「地域の活性化につながること」の視点から事業の実施ができました。

今後は、今回実施した事業やその効果を一過性のものとして終わらせるのではなく、本市の持続的発展に向け、オール鈴鹿でまちづくりを進めることにより、次の市制施行90周年、100周年へとつなげていきます。



鈴鹿市制施行80周年記念事業 報告書

●発行日／2023（令和5）年7月

●発行／鈴鹿市

●編集／政策経営部 総合政策課
